

かごしまの国際交流



令和6年12月

鹿児島県

目 次

1	鹿児島の国際交流の現況	1
2	県の国際交流事業	2
	(1) 香港との交流	2
	(2) シンガポールとの交流	5
	(3) 韓国全北特別自治道（旧全羅北道）との交流	7
	(4) 中国江蘇省との交流	10
	(5) 中国・清華大学との交流	13
	(6) 台湾・屏東県との交流	15
	(7) ベトナムハイズオン省との交流	17
	(8) 米国ジョージア州との交流	19
	(9) 英国との交流	22
3	市町村の姉妹・友好都市提携状況	25
4	在留外国人数	30
	(1) 地域・国籍別在留外国人数（鹿児島県）	30
	(2) 在留外国人数の推移（鹿児島県）	31
	(3) 都道府県別在留外国人数	32
	(4) 鹿児島県及び全国の国籍別在留外国人数	33
5	外国青年招致事業（JETプログラム）による外国青年の配置状況	34
6	留学生の受入状況	35
	(1) 国費・私費等別留学生数【県内在住者】	35
	(2) 国籍別・大学等別留学生数【県内在住者】	36
	(3) 大学の国籍別外国人留学生の推移	37
	(4) 県費留学生の受入状況	39
7	海外技術研修員受入実績	40
	(1) 海外技術研修員受入実績	40
	(2) 海外技術研修員受入機関状況	41
8	鹿児島県からの青年海外協力隊員派遣状況	42
9	海外鹿児島県人会	43
10	公益財団法人鹿児島県国際交流協会	44
	(1) 概要	44
	(2) 事業実績	46
11	鹿児島県国際交流プラザ	58
	(1) 設置目的	58
	(2) 概要	58
12	アジア・太平洋農村研修村	59
	(1) アジア・太平洋農村研修村の概要	59
	(2) アジア・太平洋農村研修センターの概要	59
	(3) 鹿児島県アジア・太平洋農村研修センターの事業実績	63
13	鹿児島県国際交流センター	70
	(1) 整備の経緯	70
	(2) 施設概要	70
	(3) 居住施設の概要	71
	(4) 指定管理者情報	73
14	多文化共生社会の推進	74
	(1) コミュニケーション（言葉）の壁の解消	74
	(2) 生活の壁の解消	74
	(3) 意識の壁の解消	75

1 鹿児島県の国際交流の現況

鹿児島県は、日本の西南部に位置するという地理的条件から、歴史的に外国との交流の門戸として重要な役割を果たしてきた。

薩摩半島の南西端にある坊津は、8世紀に、唐の高僧・鑑真和上の上陸地となったほか、中国、東南アジア等との貿易、宗教・文化交流の起点として栄えた。

また、16世紀には、種子島に鉄砲が伝来し、鹿児島に上陸したフランシスコ・ザビエルによってキリスト教がもたらされるなど、鹿児島は、我が国が西洋文化に初めて出会った地である。

さらに、幕末には、薩摩藩は諸藩に先駆けて近代的工業群：集成館を造るなど近代化を進めるとともに、英国への留学生派遣やパリ万国博覧会への独自参加なども行っている。

これらの歴史の積み重ねは、本県に個性的な産業や生活文化を育てており、現在においても貴重な財産となっている。県では、こうした地理的特性やこれまでの歴史的なつながり等を生かしながら、世界の様々な地域との国際交流を行ってきている。

特に、香港、シンガポール、韓国全北特別自治道（旧全羅北道）、中国江蘇省との間では、定期的な交流会議・交流協議会の開催やアジア3地域に設立した「アジアかごしまクラブ」を基軸に、経済、観光、芸術・文化、青少年等の様々な分野で交流を行っている。

上記のほか、行っている交流として、まず、中国・北京にある清華大学との間で、平成25（2013）年に今後の双方の交流・協力を推進するために締結した包括協定に基づき、青少年、学術、経済等の分野において交流事業を実施し、人材育成や人的ネットワークの構築を図っている。

平成30（2018）年7月に、英国のロンドン・カムデン区及びマンチェスター市と友好協定を締結、令和元（2019）年8月には、姉妹盟約を締結している米国のジョージア州と確認書を取り交わし、同年10月にベトナム・ハイズオン省との連携協定を、令和6（2024）年1月には、台湾の屏東県と交流協定を締結し、交流を促進することとした。

その他にも、海外技術研修員の受入や留学生の支援など、本県の特性を生かした国際協力も積極的に推進しているほか、市町村や民間国際交流団体等においてもアジア地域を中心に多様な交流・協力活動が活発に行われているとともに、県内各大学では留学生の受入や学術交流などが行われている。

県では、今後とも市町村や民間国際交流団体、大学等とも連携し、アジア地域をはじめとして、これまでの交流を通じて形成してきた人的ネットワークや海外事務所等を活用し、産業振興にも資する国際交流を推進していくこととしている。

2 県の国際交流事業

(1) 香港との交流

中国華南地域の中心であり、中国本土に向けた交流・交易の拠点的功能を担っている香港との間で、経済、観光、芸術・文化、青少年等の各般にわたる交流について協議するため、昭和55（1980）年に「第1回鹿児島・香港交流会議」を開催して以来、2年ごとに交互の地で会議を開催している。

この会議を柱に、経済、観光、芸術・文化、青少年等、幅広い分野における交流が展開されてきている。

また、昭和60（1985）年7月から香港に県の駐在員を設置しているほか、平成11（1999）年1月11日には、県人会関係者、交流会議関係者、日本語研修・からいも交流参加者等で構成される「香港かごしまクラブ」が香港で設立され、また平成14（2002）年9月7日には、鹿児島に「かごしま香港クラブ」が設立された。

令和4年度には、「第23回鹿児島・香港交流会議」を鹿児島で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、書面協議となった。

令和6年度は、「第24回鹿児島・香港交流会議」を香港で開催し、経済交流、観光交流、人的交流などの各分野における今後の具体的な交流プログラム7項目について双方が合意した。



左：東アジア内における香港の位置 右：香港の拡大地図

① 香港の概要

面積：1,110km²

人口：740万人（2022年）

地勢・気候：香港島と、中国大陸につながる九龍半島および周辺の大小235の島から成る。気候は季節風のため変化に富み、4月中旬から9月は南風が吹き高温多湿。10月～3月には北風が吹く。

主要産業：金融サービス業、不動産業、観光業、貿易業

（出典：外務省ホームページ「国・地域」）

② 香港との交流

ア 鹿児島・香港交流会議（昭和55年度～）

以下の交流プログラムに基づき、交流を実施

- ・ 芸術文化交流
- ・ 霧島国際音楽祭への受講生受入れ
- ・ 青少年交流
- ・ 民間レベルの交流促進
- ・ 経済交流
- ・ 観光PR等

イ 経済交流

(ア) 商談会の開催（昭和57～59年度、昭和63～平成2年度、平成8年度、平成17～18年度、平成20年度～）

※ 令和2～4年度は、オンラインで実施

(イ) 鹿児島フェアの開催（平成19年度～）

(ウ) フードエキスポへの出展（平成24年度～令和元年度）

(エ) レストランフェアの開催（平成21年度～）

(オ) シェフ・バイヤー等の招へい（平成21年度～令和元年度、令和4年度～）

ウ 観光交流

(ア) 航空便の就航

鹿児島ー香港線（平成20～21年度、平成26年度～令和2年3月、令和5年6月～）

(イ) 海外旅行者等招待事業（昭和57年度、昭和62～平成5年度、平成7～13年度、平成15～17年度、平成19年度～）

(ウ) 観光ミッションの派遣（平成10年度、平成12年度～）

(エ) EGLフライケーションキャンペーンへの協賛（令和2年度）

(オ) 香港メディア関係者の招請及び鹿児島県のPR（令和3年度～）

エ 芸術・文化交流

(ア) 鹿児島・香港芸術文化交流事業（平成元年度～平成30年度、令和6年度～）

(イ) 霧島国際音楽祭への講習生受入（平成4年度～令和元年度、令和4年度～）

オ 人材の交流

- (ア) 鹿児島県青少年海外ふれあい事業（昭和37年度～令和元年度、令和5年度～）
本県青少年の派遣及び香港青少年の受入
- (イ) ジェトロ香港センターへの鹿児島県職員の派遣（昭和60年7月～）
- (ウ) かがしま青少年海外研修事業（平成29年度～）
※ 令和3、4年度は、オンライン研修を実施

カ 香港かがしまクラブ（アジアかがしまクラブ）（平成10年度設立）
会員数：400名

キ 市町村の交流

- (ア) 南大隅町（旧根占町）のドラゴンボート大会に香港チーム参加
（平成元年度～令和元年度）

ク その他の交流

- (ア) 香港の大学生が「からいも交流・夏」に参加（平成3年度～）
- (イ) 日本語・日本文化研修
香港大学、香港中文大学生がアジア・太平洋農村研修センターで研修
（平成7年度～令和元年度、令和5年度～）
香港ウーロンゴン大学学生の研修（平成19年度～令和元年度、令和5年度～）
※平成30年に香港城市大学専上学院から、香港ウーロンゴン大学に名称変更
- (ウ) かがしま香港クラブ設立（平成14年度設立）
- (エ) アジア青少年芸術祭（鹿児島市主催）への参加
（平成18年度～令和2年度、令和5年度～）
- (オ) 鹿児島大学学生の香港企業におけるインターンシップ（平成27年度～令和元年度）
- (カ) 鹿児島国際大学学生の香港企業におけるインターンシップ（平成27年度～令和元年度）

(2) シンガポールとの交流

アジアの貿易、金融の中心地として目覚ましい発展をとげているシンガポールとの間で、経済、観光、文化・スポーツ等各分野で本県との交流促進を図るため、昭和57（1982）年に「第1回鹿児島・シンガポール交流会議」を開催して以来、2年ごとに交互の地で交流会議を開催している。

この会議を柱に、経済、観光、芸術・文化など幅広い分野における交流が活発に展開されてきている。

また、平成11（1999）年1月13日には、人的ネットワークの形成を促進するために、リム・チン・ベン元駐日大使を名誉顧問とし、交流会議関係者、県人会関係者、留学生・技術研修生OB等で構成する「かごしまクラブシンガポール」が設立された。

令和5（2023）年11月22日には、「第21回鹿児島・シンガポール交流会議」が鹿児島において開催され、併せてシンガポール観光セミナー・意見交換会及びシンガポール経済セミナー等の関連事業を実施した。会議においては、経済、観光、文化、青少年交流等の各分野での交流促進について意見交換が行われるとともに、今後の交流プログラム8項目について双方が合意した。

令和7年度は、「第22回鹿児島・シンガポール交流会議」をシンガポールで開催する予定。



左：アジア内におけるシンガポールの位置 右：シンガポールの拡大地図

① シンガポールの概要

面積：720km²

人口：564万人（2022年）※うちシンガポール人・永住者は約407万人

地勢・気候：マレー半島の突端ジョホール水道を隔てたシンガポール島（東西42km、南北23km）と付属諸島から成る都市国家。海洋性気候で気温は年間ほぼ一定し、日中平均気温は30.6℃、11～1月は雨が多い。

主要産業：製造業、商業、ビジネスサービス、運輸・通信業、金融サービス業

（出典：外務省ホームページ「国・地域」）

② シンガポールとの交流

ア 鹿児島・シンガポール交流会議（昭和57年度～）

イ 経済交流

- (ア) 商談会の開催（昭和60～62年度，平成19，23，27～29年度）
- (イ) 百貨店とスーパーで鹿児島フェアを開催（平成22～令和元年度，令和3年度～）
- (ウ) シンガポールのレストランで鹿児島フェアを開催（平成20～27年度，平成29～令和元年度，令和3年度～）

ウ 観光交流

- (ア) 国際旅行見本市に参加（平成5，7年度）
- (イ) マスコミの相互派遣及び受入（平成3年度～）
- (ウ) フラワーパークかごしまとシンガポール植物園の交流（平成9～令和元年度）
- (エ) オンラインで観光プロモーション活動の実施（令和2，3年度）

エ 芸術・文化交流

- (ア) 霧島国際音楽祭・講習会への講習生受入（昭和63～令和元年度，令和5年度～）
- (イ) チンゲイパレード（旧正月を祝うパレード）への学生派遣（令和元年度）

オ 人材の交流

- (ア) 国際交流員の配置（平成15年度～）
- (イ) （一財）自治体国際化協会シンガポール事務所への鹿児島県職員の派遣（平成2～7年度，平成10年度～）
- (ウ) 日本人学校への鹿児島県教職員派遣（昭和47年度～）
- (エ) 鹿児島県青少年海外ふれあい事業（昭和37年度～）
- (オ) シンガポール日本語スピーチコンテスト優勝者のホームステイ受入（平成16～21年度，平成28年度～平成30年度）

カ かごしまクラブ・シンガポール（アジアかごしまクラブ）（平成10年度設立） 会員数：130名

キ その他の交流

- (ア) アジア青少年芸術祭（鹿児島市主催）への参加（平成18年度～令和元年度，令和5年度～）
- (イ) 鹿児島県ASEANディレクターの設置（平成28年4月～）

(3) 韓国全北特別自治道（旧全羅北道）との交流

平成元（1989）年10月に「友好協力の推進に関する共同宣言」に調印して以来、行政間交流をはじめ、青少年や女性団体による交流、文化・スポーツ交流を中心に、活発な交流が展開されるとともに、「全羅北道かごしまクラブ」の設置を通じて人的ネットワークの形成が図られている。

平成6（1994）年5月には、「第1回鹿児島・全羅北道交流会議」を鹿児島で開催し、行政、観光、産業・経済、文化・スポーツの各分野別に協議を行った。

平成21（2009）年11月には、これまでの交流関係を基盤として、今後の両県道の交流について、実務レベルで協議する「鹿児島県・全羅北道交流協議会」を鹿児島において開催し、芸術文化交流や青少年交流等について協議した。以降、交流協議会は2年ごとに交互の地で開催し、令和元（2019）年10月31日には、「第6回鹿児島県・全羅北道交流協議会」を全羅北道で開催するとともに、共同宣言調印30周年を迎えた。

令和5（2023）年10月25日には、「第8回鹿児島県・全羅北道交流協議会」を全北特別自治道で開催した。



① 全北特別自治道の概要

面積：8,069km²

人口：約175万人（2023年末現在）

道都：全州市

地勢・気候：韓国の南西部に位置する全北特別自治道は、河川と肥えた平野地帯が発達し、東は慶尚南道、南は全羅南道、北は忠清南道、西は黄海に面している。ソウルから道都・全州市まで特急列車で3時間半、高速バスで3時間ほどである。西海岸部のセマングム干拓総合開発により、朝鮮半島の対外貿易の中心地となるべく、事業を推進している。

歴史・風土：かつて、後期百済王朝がこの地方に都を置き、また、朝鮮王朝の発祥地でもあるため、歴史的遺産が多い地域である。この地方は、伝統的韓国料理の里としても有名である。

行政地区：6市8郡

産業構造：第1次産業（農林水産）8.6%

第2次産業（鉱業製造業）27.5%

第3次産業（建設業、サービス業等）63.9%（2022年末現在）

特産品：高敞の陶磁器、長水の石製品、南原の木器、全州の韓紙、竹扇、淳昌のコチュジャン（辛子味噌）は典型的な地元の特産品である。

（出典：全北特別自治道ホームページ）

その他：「全羅北道」から「全北特別自治道」への改編について

（1）変更日：2024年1月18日

※2023年1月に「全北特別自治道の設置に関する特別法」が成立

（2）特別自治道について

・一般的な行政区域である「道」よりも高い自治権が与えられた地域として地域の条件や特性に合った特例が与えられ、自主的な政策決定と責任下で運営される特別地域

・特別自治道は、済州と江原道に次いで、全国で3番目

② 全北特別自治道との交流

ア 鹿兒島・全羅北道交流協議会（平成21年度～）※隔年開催

※ 令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により書面協議

イ 芸術・文化交流

（ア）鹿兒島・全羅北道芸術文化交流（平成6年度～）※隔年開催

※ 令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により中止

（イ）霧島国際音楽祭講習生受入（平成7年度～）

※ 令和2～4年度は、新型コロナウイルスの影響により中止

ウ 人材の交流

（ア）国際交流員の配置（平成6年度～）

（イ）日本語・日本文化研修生のアジア・太平洋農村研修センターでの受入（平成7年度～）

※ 令和2, 3年度は、新型コロナウイルスの影響により中止

エ 全羅北道かごしまクラブ（平成10年度設立）

会員数：220名

オ 市町村の交流

(ア) 鹿児島市

かごしまアジア青少年芸術祭受入（平成19年度～）

(イ) 鹿屋市（旧串良町）

3小学校と全州北一（ブクイル）初等学校との友好親善交流（平成5年度～）

(ウ) 日置市

南原（ナムウォン）市と文化交流協約を締結（平成20年5月1日）

カ その他の交流

(ア) アジア・太平洋農村研修センター

全北特別自治道大学生への日本語研修（平成7年度～）

※ 令和2、3年度は、新型コロナウイルスの影響により中止

(イ) 鹿児島空港ビルディング(株)

全北特別自治道からの案内係員招致（平成9年度～令和5年度）

(ウ) 公益財団法人鹿児島県国際交流協会

鹿児島・全羅北道文化探訪団による本県関係団体の派遣（平成21年度～令和元年度）

鹿児島・全北特別自治道文化交流事業による講師等の派遣・受入れ（令和2年度～）

③ 全北特別自治道以外の鹿児島県と韓国との交流

（一財）自治体国際化協会ソウル事務所への鹿児島県職員の派遣（平成7年度～）

④ その他

ア 航空便就航の状況

(ア) 鹿児島ーソウル線（平成2年度～）

※ 新型コロナウイルスの影響により、令和2年1月末から令和5年10月末まで運休

(イ) 鹿児島ーテグ線（平成30、令和元年度）

イ 駐鹿児島大韓民国名誉総領事館の設置（令和3年4月開館）

場 所：沈壽官窯（日置市）

名誉総領事：第15代沈壽官

(4) 中国江蘇省との交流

地理的にも歴史的にも本県と関係が深く、将来にわたり継続的な発展が見込まれる中国との交流については、昭和60（1985）年の農業分野での技術交流を契機に、江蘇省との間で、海外技術研修員や国際交流員、各種訪問団の受入のほか、青少年の派遣等、人材交流を中心に様々な分野における交流を行ってきた。

平成9（1997）年11月に知事が江蘇省を訪問した際、同省の省長と、県・省間の今後の交流のあり方について協議し、幅広い交流を促進することを目的とした交流協議会の設置について合意したことを受け、平成10（1998）年8月に総務部長を団長とする訪問団が江蘇省を訪問し、「鹿児島県・江蘇省交流協議会協定書」を締結するとともに、「第1回鹿児島県・江蘇省交流協議会」を開催した。以降、交流協議会を毎年、相互の地で交互に開催している。

なお、平成20（2008）年は交流協議会開始10周年という節目の年にあたったことから、今後の両省県の更なる交流促進を図るため、知事及び県議会議長等が江蘇省を訪問し、江蘇省長への表敬訪問を行ったほか「鹿児島県と江蘇省の友好交流の促進に関する協議書」を締結した。

令和4年度は、江蘇省にて「第25回鹿児島県・江蘇省交流協議会」が開催される予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、書面開催となった。

令和5年度は、鹿児島県にて「第26回鹿児島県・江蘇省交流協議会」が開催される予定であったが、書面開催とし、行政、観光、青少年等の幅広い分野の交流について、令和5年度の交流プログラム12項目に双方が合意した。



① 江蘇省の概要

面積：107,200km²

人口：8,526万人（2023年末現在）

省都：南京市

地勢・気候：中国大陸の東部沿海地区に位置し、長江の河口域にあり、北部に淮河が流れる。東は黄海、西は安徽省に連なり、南は浙江省、北は山東省と境界を接する。

気候は亜熱帯から温帯に属している。平坦な地勢で平原が広く、湖や河川が交錯し、水路網が発達している。

産業構造：第1次産業 4.0%

第2次産業 44.4%

第3次産業 51.6%（2023年末現在）

（出典：江蘇省人民政府ホームページ）

② 南京市の概要

面積：6,587km²

人口：954.7万人（2023年末現在）

気候：1月平均最低気温 2.7℃

7月平均最高気温 28.1℃

年間降水量 1,090.4mm（2022年8月現在）

（出典：南京市人民政府ホームページ）

③ 江蘇省との交流

ア 県の交流

(7) 鹿児島・江蘇省交流協議会（平成10年度～）

※ 令和2～4年度は、新型コロナウイルスの影響等により書面協議

令和5年度は、江蘇省からの訪問団が日程調整できず書面協議

(4) 海外技術研修員の受入（平成3年度～）

※ 令和2～4年度は、新型コロナウイルスの影響等により中止

(5) 国際交流員の配置

江蘇省から国際交流員を招致

※ 令和2～5年度は、新型コロナウイルスの影響等により中止

(6) 江蘇省への専門家派遣（平成12年度～）

江蘇省が希望する分野の専門家を派遣し、省開催のセミナーで講演等を行う。

※ 令和2～4年度は、新型コロナウイルスの影響等により中止

令和5年度は、江蘇省から派遣依頼がなく、実績なし

(8) 中国語の研修（平成11～16年度、平成21年度～）

南京師範大学での語学研修及び江蘇省国際交流センターでの実務研修を実施

※ 令和2～4年度は、新型コロナウイルスの影響によりオンラインで実施

イ 市町村の交流（友好交流協定等）

(7) 薩摩川内市－常熟市（平成3（1991）年7月）

(4) 湧水町－淮安市洪沢区（平成10（1998）年7月）

(5) 南さつま市－宿遷市（平成14（2002）年10月）

④ 江蘇省以外の中国との交流

ア 県の交流

(7) 鹿児島県上海事務所（社団法人鹿児島県特産品協会上海駐在事務所）の開設（平成22年度）

(4) 北京・清華大学との「鹿児島県と清華大学との包括交流に関する覚書」（以下、「MOU」という。）に基づく友好交流（平成26年度）

平成25（2013）年8月にMOUを締結し、翌年度から青少年・学術・経済などの幅広い分野で交流を推進し、人材の育成と人的ネットワークを構築。

イ 市町村の交流（友好交流協定等）

(7) 鹿児島市－湖南省長沙市（昭和57（1982）年10月）

(4) 薩摩川内市－上海市嘉定区馬陸鎮（平成7（1995）年8月）

(5) 霧島市－陝西省耀州区（平成7（1995）年10月）

(6) 霧島市－湖南省瀏陽市（平成19（2007）年10月）

(オ) 南大隅町－上海市奉賢区庄行鎮（平成20（2008）年1月）

ウ 民間の交流

鹿児島県日中友好協会、鹿児島市日中友好協会、中国同人館、奄美市日中友好協会、薩摩川内市日中友好協会、鹿児島県日中友好教職員の会、その他各市町国際交流協会等の民間レベルでも青少年交流や研修視察団派遣などの友好交流、植林活動、学校建設支援などの活動を行っている。

エ 学生等の交流

(ア) 鹿児島大学

湘潭大学（湖南省湘潭市）など、18大学と交流協定を締結し、研究者交流、学生交流、資料の交換等を行っている。

(イ) 鹿児島国際大学

華東師範大学（上海市）及び大連外国語大学（遼寧省大連市）と交流協定を締結し、研究者交流、学生交流、資料の交換等を行っている。

(ウ) 鹿屋体育大学

上海体育学院（上海市）、渤海大学（遼寧省錦州市）及び天津体育学院（天津市）と交流協定を締結し、研究者交流、学生交流、資料の交換等を行っている。

(エ) 鹿児島県立短期大学

南京農業大学国際教育学院（江蘇省南京市）と平成14（2002）年8月に「学術交流に関する合意書」に調印。平成17（2005）年9月に「交換留学協定書」に調印し、研究者交流、学生交流、資料の交換等を行っている。

(オ) 志學館大学

長春師範大学（吉林省長春市）と平成21（2009）年9月に交流協定を締結し、学生交流等を行っている。

(カ) 鹿児島純心女子大学

常熟理工学院（江蘇省常熟市）と平成23（2011）年10月に交流協定を締結し、学生交流等を行っている。

(キ) 県立鹿児島東高校

天津市の匯文中学（第34中学から校名変更）と平成10（1998）年10月に姉妹校盟約を締結し、学生交流等を行っている。

オ 中国への修学旅行

令和元年度以降、実施校なし

(5) 中国・清華大学との交流

本県と清華大学は、平成23（2011）年に学生交流等を通じて交流が始まり、平成24（2012）年には同大学の謝維和副学長が本県を訪問され、双方の交流を深めるため、知事の同大学訪問を提案された。

これを受け、平成25（2013）年8月29日に、知事や県議会議長をはじめ、県内経済界や大学の代表者等が清華大学を訪問し、今後の双方の総合的かつ持続的な交流を促進するため、知事と学長の署名によりMOUを締結した。清華大学と海外の地方自治体によるMOU締結は、本県が初めてである。

これ以降、青少年・学術・経済などの分野において交流事業を実施し、双方の人材育成や人的ネットワークの構築を図っている。

① MOUの締結

ア 締結日

平成25（2013）年8月29日

イ 場 所

清華大学（北京市）

ウ 出席者

(7) 鹿児島県側

知事、県議会議長、鹿児島大学学長、鹿児島国際大学学長ほか11名

(1) 清華大学側

清華大学校務委員会副主任（党委員会副書記）、同大学国際部副部长、同大学社会科学学院院務委员会主任、人文学院党委員会書記ほか13名

② MOUの内容

ア 未来に向けて手を携える真の友情を構築するため、人材と情報の交流を促進する。

イ 東アジアの繁栄に寄与するため、多様な分野における交流を促進し、双方の連携強化を深める。

(7) 次代を担う若者同士の理解と友情をさらに深めるため、双方の青少年学生交流を積極的に促進する。

(1) 双方の人材育成や学術・技術交流を促進するため、あらゆる人材交流の機会の創出に努める。

(ウ) 双方の教育・産業分野における協力を促進し、幅広い人的ネットワークの構築や双方の連携強化に努める。

③ MOUの更新

MOUは、5年間の期限となっており、これまで下記のとおり2回更新を行った。なお、内容については変更なし。

・ 1期目のMOU更新：平成30（2018）年8月29日付

・ 2期目のMOU更新：令和5（2023）年12月20日付

④ 清華大学の概要

中国国務院教育部直属の国家重点大学であり、北京大学と並ぶ中国のトップレベルの大

学。21の学院（学部）と59の系（学科）を有する総合大学で、習近平国家主席、胡錦濤前国家主席など多数の政府要人を輩出している。

所在地：中国北京市

学 長：李 路明（り ろめい）

学生数：本科生 16,291人、修士生 22,657人、博士生 21,971人

合 計 60,919人（うち留学生2,822人）

（2024年6月末現在、出典：清華大学）

⑤ 清華大学との交流

ア 青少年の交流

(7) 清華大学への派遣

大学生の語学留学及び高校生、教職員等の中国語研修

※ 令和2～5年度は、新型コロナウイルスの影響等により中止

(1) 清華大学学生等の受入

県内大学生との学生交流（令和5、6年）

※ 令和2～4年度は、新型コロナウイルスの影響等により中止

イ 学術交流

(7) 文化芸術交流（派遣、受入）

清華大学美術学院と県内で文化芸術に携わる制作者や学生等の交流

※ 令和2～5年度は、新型コロナウイルスの影響等により中止

(1) 環境問題交流（派遣、受入）

清華大学環境学院と県内環境問題の専門家等との交流

※ 令和2～5年度は、新型コロナウイルスの影響等により中止

(6) 台湾・屏東県との交流

令和6（2024）年1月22日に、「鹿児島県と屏東県との交流協定」（MOU）を締結した。

MOU締結を契機に、屏東県と青少年、芸術・文化、観光、経済などの幅広い分野での交流が促進される見込みである。

これまで台北を中心とする台湾北部地域で実施してきた県産品の販路開拓や観光客誘致の取組が、今後は台湾南部地域まで広がることが期待される。

① 台湾屏東県の概要

- ・ 屏東県は台湾南端に位置する県
- ・ 三方が海に面し、漁業が盛んなほか、トロピカルフルーツやコーヒー栽培等の農業も盛ん。
- ・ 行政区としては、日本の県に相当
1市3鎮29郷で構成される。
- ・ 面積：2,775km²
- ・ 人口：819,793人（2023年）
- ・ 一人当たりGDP：約193万円



② 交流の経緯

令和元年12月 県議会議員が台北駐福岡経済文化弁事処から交流先として屏東県を紹介される。

令和2年2月 屏東県知事から、交流の可能性について話し合いたいとの申し出

令和2年5月 屏東県より医療物資（医療用ゴーグル等）が提供

令和3年2月 屏東県知事等とのオンライン会談

令和5年9月 屏東県知事が鹿児島県を訪問、友好交流について懇談

令和6年1月 鹿児島県知事が屏東県を訪問、MOU締結

令和6年9月 屏東県知事が鹿児島県を訪問、友好交流について懇談

③ MOUの内容

鹿児島県と屏東県との交流協定（令和6（2024）年1月22日）

- ・ 青少年交流、芸術文化交流等に関する協力
- ・ 観光セミナーやイベント等の観光PR事業に関する協力
- ・ 相互の地における物産展や商談会に関する協力

④ 屏東県との交流

ア 本県における屏東県PRイベント

(7) 「屏東県物産展」・「台湾文物展」開催

期 間：令和3年4月27日～5月22日

場 所：県庁舎1階エントランス及び2階県民ホール喫茶側

内 容：台湾鉄道の写真パネル、台湾風景の写真を和紙で表現した掛け軸、屏東県原住民の木彫り、海産物や果物の干し物などを展示

- (イ) 「第13回どんどん鹿児島ふるさと物産展」への出展
 期 間：令和4年8月17日～28日
 場 所：山形屋（鹿児島市）
 内 容：屏東県を紹介するパネル展及びPRブースを設置
- (ウ) 「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」へのブース出展
 期 間：令和5年10月17日、28日、30日
 場 所：鴨池公園（ぐりぶー広場）
 内 容：「鹿児島県の国際交流ブース」に出展し、屏東県の観光・文化等をPR
- (エ) 「アジアン・鹿児島 2024」への出展
 期 間：令和6年10月20日
 場 所：中央公園（鹿児島市）
 内 容：「鹿児島県の国際交流ブース」に出展し、屏東県の観光・文化等をPR

イ 屏東県における本県PRイベント

- (ア) 「屏東クリスマス」への出展
 期 間：令和3年度：令和3年12月24日～27日
 令和4年度：令和4年12月23日～25日
 場 所：屏東市・屏東公園
 内 容：県PRブースを出展し、観光パンフレット及びノベルティ等を配布
- (イ) 「屏東・日本友好感謝祭」への出展
 期 間：令和3年度：令和4年2月26日～28日
 令和5年度：令和5年7月7日～9日
 場 所：屏東市・勝利星村
 内 容：県PRブースを出展し、観光パンフレット及びノベルティ等を配布、併せて、
 開会式典において知事メッセージ動画を上映
- (ウ) 屏東熱帯農業博覧会
 期 間：令和6年2月3日(土)～3月3日(日)
 場 所：屏東農業物産館及びその周辺（台湾屏東県）
 内 容：県PRブースでの本県の観光及び県産品の紹介
 特設ステージでの島唄披露（開幕式(2/3, 4)）、県内高校生と屏東県高校
 生によるおはら節披露（閉幕式(3/2, 3)）

(7) ベトナムハイズオン省との交流

令和元年10月に、お互いの連携・協力を促進するため、相互交流や人材育成・確保、科学技術協力、経済・観光協力に関する連携協定を締結し、人材、農業、観光等の分野での交流を行っている。

また、同協定における相互交流として、訪問団の派遣・受入を行う。



左：アジア内におけるベトナムの位置 右：ベトナムの拡大地図

① ハイズオン省の概要

面積：約1,654 km²

人口：約178万人（都市部25.1%、農村部74.9%）

位置：首都ハノイから東に57km、外港ハイフォンから西に45km

省都：ハイズオン市

行政区分：郡10、市2、町村265

気候：亜熱帯気候に属し、四季の他、雨季（4～10月）と乾季（11～3月）を有する。
米などの農作物や果物、野菜の栽培に適した気候に恵まれている。

② 連携協定締結の経緯

平成31年3月 本県に多くの人材を送り出しているベトナムとの更なる関係強化を図るため、当時の駐日ベトナム大使が連携先としてハイズオン省を推薦

平成31年4月 ハイズオン省から党書記をはじめとする訪問団が来鹿
具体的な協議を実施

令和元年10月 ベトナム・ビジネス・サミットの間においてハイズオン省との連携協定を締結

③ ハイズオン省との交流

ア 相互交流

(7) 知事とタン党書記とのオンライン会談実施（令和3年8月23日）

- ・ 連携協定に基づく農業分野における科学技術協力など、具体的な交流内容について、意見交換を実施

(4) ハイズオン省訪問団を本県に招聘（令和4年7月14～17日）

- ・ ベトナムフェア開催のタイミングに合わせて、連携協定に基づく相互交流として、ハイ

ズオン省訪問団を招聘し、友好親善を図った。

(ウ) 鹿児島県訪問団をハイズオン省へ派遣（令和5年7月10日～14日）

- ・ ハイズオン省との連携協定に基づき意見交換を行い、特にベトナム人材の育成・確保に関する相互の取組について協議を実施

イ 人材育成・確保

県内監理団体とハイズオン省送り出し機関とのマッチング（令和6年3月8日）

- ・ ハイズオン省人材の本県への送り出しを促進するため、マッチングを実施

ウ 科学技術協力

ハイズオン省へ農業専門家（農政部技術職員）を派遣（令和5年2月14～16日）

- ・ 特産のニンジンの栽培技術、青果物の鮮度保持技術について、ハイズオン省職員へ講義及び情報提供を実施

エ 経済・観光協力

ベトナム・鹿児島経済交流セミナー2022（令和4年7月15日）

- ・ 駐日ベトナム大使館等によるベトナムの最新事情や、双方の企業の事例等を提供

(8) 米国ジョージア州との交流

昭和41（1966）年11月28日にジョージア州庁にて姉妹関係盟約を締結。以後、親善使節団等の派遣、受入や青少年交流等が実施されるとともに、大学間やロータリークラブ間などで相互交流が行われている。



① ジョージア州の概要

面	積	: 153,953km ² (当県の約17倍, 日本の面積の約41%)				
人	口	: 10,712千人 (2020年現在)				
州	都	: アトランタ				
知	事	: ブライアン・ケンプ (Brian Kemp, 共和党)				
議	会	: 上院議員56名, 下院議員180名				
空	港	: ハーツフィールド・ジャクソン・アトランタ国際空港				
	港	: サバナ港, ブランズウィック港				
主	要	産	業	: 製造業, 農業, 卸売・小売業, 情報産業, 金融・保険業, 不動産業		
日	本	と	の	時	差	: 14時間 (夏期13時間)
飛	行	時	間	: 日本→アトランタへ直行便で約12時間		
名	所	旧	跡	: ストーンマウンテン州立公園, ダロネガ黄金博物館, マーティン・ルーサー・キング牧師記念地区, ケネソーマウンテン国立古戦場公園 等		
州	木	: サザンライブオーク				
州	花	: チェロキーローズ				
州	歌	: 我が心のジョージア				

(出典: The New Georgia Encyclopedia (WEBサイト),
在アトランタ日本総領事館ホームページ等)

② 姉妹関係盟約締結の経緯

- 昭和38(1963)年10月 南日本新聞社の鮫島編集局長の渡米に際し、寺園勝志県知事がカール・サンダース州知事へのメッセージを託す。
- 昭和40(1965)年10月25日 日米知事会議のため来日(来鹿)したカール・サンダース州知事、寺園知事及び鮫島編集局長との間で姉妹州県の盟約の意思確認がなされる。
- 昭和41(1966)年6月 ジョージア州から姉妹関係盟約の宣言書が届く。
- 昭和41(1966)年11月14日 鹿児島県側宣言書をカール・サンダース州知事宛に送付する。
- 昭和41(1966)年11月28日 ジョージア州アトランタ市で姉妹関係盟約に関する協定を締結。

③ 姉妹関係盟約締結の理由

ともに温暖な気候に恵まれ、農業を基盤にした産業の振興に力を注いでいる。観光の面においても、美しい豊かな自然を生かして発展しつつある。

また、歴史的に見ると、ジョージア州はアメリカを本質的に統一国家とした大内乱(南北戦争1861年~1865年)の中心となったところであり、鹿児島は明治維新(明治元(1868)年)の原動力及び西南戦争(明治10(1877)年)の中心地となったところである。

このように、両県州は気候・風土、産業、歴史等、多くの類似点を有していることから、相互の交流を深めることにより、産業、文化、教育等あらゆる分野でお互いの繁栄に役立つものと考え、姉妹関係盟約を締結した。

④ 協定書

日本国鹿児島県とアメリカ合衆国ジョージア州との姉妹関係盟約に関する協定

日本国鹿児島県とアメリカ合衆国ジョージア州とは永久の友情のきずなを結ぶため、ここに姉妹関係を盟約する。

鹿児島県民とジョージア州民は、今後、産業・文化・教育等あらゆる分野において緊密な交流を図ることにより、国際理解と国際協力の精神をつちかい、友情を深めていきたいと思う。

この盟約は、鹿児島県とジョージア州を結ぶゆるぎない友情の掛け橋となり、相互の繁栄と幸福に寄与するものと確信する。

以上の合意を確認するため、昭和41(1966)年11月28日アメリカ合衆国ジョージア州アトランタ市において、この協定書に署名する。

鹿児島県知事 寺園 勝志

ジョージア州知事 カール・E. サンダース

⑤ ジョージア州との交流（平成20年以降）

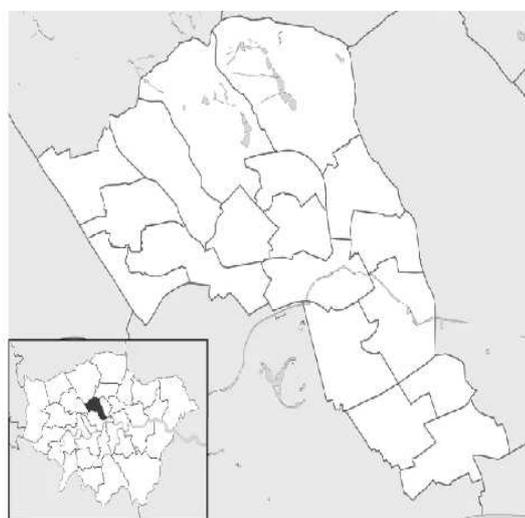
- 平成20(2008)年7月4日 ジョージア州商務省ケン・スチュワート長官一行4名が来鹿
- 平成30(2018)年6月4日 ジョージア工科大学外国語学科講師・学生計22名県内視察・県庁訪問
- 平成30(2018)年10月23日 ジョージア大学から農・環境科学部長一行が鹿児島大学長を表敬訪問
- 令和元(2019)年8月2日 三反園訓知事一行(9名)がジェフ・ダンカン州副知事を表敬訪問し、姉妹盟約に係る確認書に調印・取り交わし
- 令和6(2024)年11月16日 ジョージア州商務省日本事務所代表のジョセフ・ハントマン氏らが来鹿し、ジョージア州に関する紹介セミナーを実施

(9) 英国との交流

安政5（1865）年4月に薩摩藩の藩士達が「オースタライエン号」で現在のいちき串木野市内にある羽島から出航し、英国に留学。帰国後、外交、実業、教育等の分野を中心に我が国の近代化に大きな役割を果たすなど、歴史的に深い関係を有している。

このような背景から、薩摩藩英国留学生派遣から150周年に当たる平成27（2015）年、県と留学生ゆかりの4市（鹿児島市、阿久根市、いちき串木野市、伊佐市）は、公募した青少年を英国に派遣する「英国留学生派遣150周年記念 薩摩スチューデント派遣事業」を実施した。

また、我が国の近代化の始まりである明治元（1868）年（明治維新）から150周年を迎えた平成30（2018）年7月、知事が県議会議長等と英国を訪問し、薩摩藩英国留学生が学び、現在も同留学生に関する学籍簿が保管され、記念の石碑が設置されているユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（UCL）があるロンドン・カムデン区及び日本近代化に大きく貢献した集成館事業のために、五代友厚らが木綿紡績機械購入と紡績技師派遣の契約を行った地であるマンチェスター市との間で、友好協定を締結した。



左：ロンドン市拡大地図（黒色部はカムデン区）右：カムデン区拡大地図

① 英国の概要

面積：24.3万km²（日本の3分の2）

人口：6,708万人（2020年）

日英関係：慶長5（1600）年に英国人航海士ウィリアム・アダムス（三浦按針）が、豊後（現在の大分県）にオランダ船で漂着して以来、約400年以上にわたる交流の歴史を有し、第二次世界大戦前後の一時期を除き、両国は良好な二国間関係を維持している。

安政5（1858）年の日英修好通商条約締結により外交関係を開設し、平成30（2018）年には、外交関係開設160周年を迎えた。

主要産業：自動車、航空機、電気機器、エレクトロニクス、化学、石油、ガス、金融

（出典：外務省ホームページ「国・地域」、JETROホームページ「英国概況」）

② マンチェスター市の概要

面積：115.7km²

人口：578,500人（2020年）

特徴：ロンドンから電車で約2時間、イングランドの北西部に位置する英国有数の大都市圏「グレーター・マンチェスター」を構成する10の自治体の一つで、産業革命の際に中心的な役割を果たした都市として世界中にその名を知られる。サッカープレミアリーグの「マンチェスターユナイテッド」と「マンチェスターシティ」といったサッカー強豪クラブの本拠地、音楽の文化が充実した街としても有名。

主な産業：ビジネス支援、健康産業、教育、小売業、宿泊業、輸送業、倉庫、金融サービス業、保険業

（出典：（一財）自治体国際化協会ロンドン事務所ホームページ、マンチェスター市議会ホームページ）

③ ロンドン・カムデン区の概要

面積：21.8km²

人口：279,500人（2020年）

特徴：グレーター・ロンドン内の33の市区（基礎自治体）の中の一つ。ファッションの発信地「カムデンタウン」、大英博物館、ロンドン動物園、グーグル英国本社を擁する。英国北部への長距離列車の起点となるユーストン駅、ユーロスターの始発駅となるセント・パンクラス駅を擁する。

主な産業：ビジネスサービス業（知識経済、コンサルタント業、企業の本社機能）、ビクターエコノミー（観光業等）

（出典：（一財）自治体国際化協会ロンドン事務所ホームページ）

④ 英国との交流

ア 経済交流

「うんまか鹿児島輸出商談会」への英国バイヤー1社の招へい（令和元年度～）

※ 令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により中止。令和3、4年度は、オンラインで実施。

イ 観光交流

(ア) 英語圏向けFacebook「Discover Kagoshima」による観光情報の発信（平成30年度～）

(イ) WEBメディアを活用した観光プロモーション活動（令和2年度）

英旅行雑誌のWanderlustのWeb版に本県の観光スポットの情報記事を掲載

(ウ) 焼酎のオンラインPRイベント（令和2年度）

日本のPRコンサルティング会社と連携し、英国を含む欧米豪の人々に鹿児島の焼酎の魅力を紹介するイベントを実施

(エ) 旅行会社向けのオンラインPRイベント（令和2～4年度）

日本の旅行会社を通じて、英国の旅行会社向けにオンラインでPRイベントを実施

(オ) 英国開催の日本文化イベント「HYPER JAPAN ONLINE 2021」への参加（令和3年度）

CLAIRロンドン事務所とオンラインで県内の観光地をPR

(カ) 英国内のイベントへの参加（令和3年度）

ロンドン開催のWorld Travel Marketにて、日本政府観光局（JNTO）ブース出展

(キ) 旅行会社招請ツアー（令和5年度）

JNTO及び九州観光機構と連携し、英国の旅行会社に本県の観光地をPR

ウ 青少年・教育・スポーツ交流

(7) 薩摩スチューデント派遣事業（平成30年度～）

実施主体：明治維新150周年プロジェクト実行委員会（平成30年度）

鹿児島県（令和元年度、令和3年度～）

内 容：留学生足跡訪問、表敬訪問、英国青少年との交流、ホームステイ、UCLサマープログラム参加 等

※ 令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により中止。令和3、4年度は、オンラインで実施。

(イ) 学びにUK（平成27年度～）

実施主体：県立甲南高校

内 容：ホームステイ、現地の高校生及び大学院生との研究の場の体験 等

※ 令和2、3年度は、新型コロナウイルスの影響により派遣中止

(ウ) 英国青少年の受入（令和元年度～）

実施主体：鹿児島県

内 容：県内視察（歴史体験、文化体験）、学校訪問（学校体験）、ホームステイ（生活体験）等

※ 令和2～5年度は、新型コロナウイルスの影響等により中止

エ 芸術文化交流

(7) カムデン区「鹿児島展」（令和元年度）

実施主体：ロンドン・カムデン区

内 容：鹿児島の地理的位置・概要、カムデン区と鹿児島との歴史的つながり 等

オ JETプログラム参加者の英国からの受入

カ 行政間交流

(7) マンチェスター市長鹿児島訪問（平成31（2019）年4月24日～28日）

実施主体：鹿児島県

内 容：県内視察、薩摩スチューデントとの意見交換会 等

(イ) ロンドン・カムデン区長鹿児島訪問（令和元（2019）年10月22日～27日）

実施主体：鹿児島県

内 容：県内視察、薩摩スチューデントとの意見交換会 等

3 市町村の姉妹・友好都市提携状況

令和6年12月現在、21市町が、世界の30地域と姉妹・友好盟約を結び様々な交流が行われているほか、語学指導等を行う外国青年の招致、青少年の海外派遣など活発な活動が行われている。

市町村	提携先	提携年月日	締結の契機
鹿児島市	ナポリ市 (イタリア)	S35. 5. 3	ナポリ湾に望むベスビオ火山を有するナポリ市と錦江湾に浮かぶ桜島を有する鹿児島市とは、風景が似通っており、鹿児島市は「東洋のナポリ」とも呼ばれていたことなどから姉妹都市盟約が締結された。
	パース市 (オーストラリア 西オーストラリア州)	S49. 4. 23	パース市が南緯32度に位置し「ひかりの街」と呼ばれるのに対し、北緯32度に位置し「太陽と緑の街」と呼ばれる鹿児島市はともに気候が温暖で、民間交流が盛り上がる中で姉妹都市盟約が締結された。
	長沙市 (中華人民共和国 湖南省)	S57. 10. 30	鹿児島市は中国大陸に近く、鑑真和上や遣唐使船など歴史的関係も深いことから、中国との交流を求める気運が高まり、昭和56年11月に市の各界代表が中国の各都市を訪問するなど、中国との友好を深めていった。こうした中、長沙市から友好都市盟約締結の申し入れがあり、先遣視察団が鹿児島市を訪れるなど交流が深まり、友好都市盟約が締結された。
	マイアミ市 (アメリカ合衆国 フロリダ州)	H 2. 11. 1	両都市はそれぞれ日米両国の南端に位置し海外への玄関として機能し、気候も温暖であるなど類似点が多いことから姉妹都市盟約が締結された。
阿久根市	台南市善化区 (台湾)	H30. 4. 27	阿久根ロータリークラブと台湾台南市善化区のロータリークラブとの交流を機縁とし、台南市善化区側から友好交流協定締結の話があり、平成29年、善化ロータリークラブ創立25周年記念式典時に「友好交流協定締結に向けての合意書」の取り交わしが行われ、平成30年に友好交流協定の締結に至った。
出水市	順天市 (韓国 全羅南道)	H24. 11. 1	出水市と韓国順天市は、平成15年に韓国順天市長が出水市長を表敬訪問したことをきっかけに交流が始まり、平成21年9月には「日本国出水市と韓国順天市におけるツル保護等のための友好交流に関する協定書」を締結した。また、平成22年10月には、「順天湾祭り」へ出水市長が招待され出席する等交流が継続されてきたが、今後、さらに幅広い交流を推進するため、姉妹都市盟約協定を締結するに至った。

市町村	提携先	提携年月日	締結の契機
出水市	ぶーりーちん 埔里鎮 (台湾南投県)	H29. 5. 31	以前から、埔里鎮にある国立暨南（キナン）国際大学付属高校と出水中央高校とで音楽を通じた交流がなされていたことから、平成28年7月、台北駐福岡経済文化弁事処長から、埔里鎮を紹介された。平成28年8月に出水市長が埔里鎮を表敬訪問し、平成29年2月には埔里鎮長等15人が出水市を訪問し、トップ会談を行い、姉妹都市盟約締結に向けての合意書にサインがなされた。平成29年5月出水市及び市議会関係者15人が埔里鎮を訪問し、同年5月31日に調印式を行った。
指宿市	ロックハンプトン市 (オーストラリア クイーンズランド州)	S55. 11. 21 H18. 8. 6 (指宿市合併 後再提携)	オーストラリア・クイーンズランド州知事が本市を訪れた際、指宿市の地勢、豊かな風土等が大変好感をよび、同州の観光圏域の中心で、しかも人口や行政規模等の類似しているロックハンプトン市を候補に挙げ、交流を働きかけたのが始まりであり、姉妹盟約が締結された。
西之表市	ヴィラ・ド・ビスポ市 (ポルトガル共和国)	H 5. 10. 1	鉄砲伝来450周年を契機に、ポルトガル共和国の特定市と姉妹盟約を結び交流を図ることの気運が市民に高まり、駐日ポルトガル大使館の協力を得て大航海時代を拓いたサグレス号ゆかりの地であるヴィラ・ド・ビスポ市との間で姉妹盟約の調印を行った。
薩摩川内市 (旧川内市)	常熟市 (中華人民共和国 江蘇省)	H 3. 7. 26 H17. 4. 15 薩摩川内市として再提携	地域の国際化と重要港湾川内港の高度利用を図るため、約850kmの近い距離にある中国上海市近郊の港湾都市・常熟市と昭和60年以来視察団やスポーツ交流団を相互派遣するなど友好交流が深まり、両市の相互発展を期して友好都市盟約が締結された。
(旧入来町)	まるちん 馬陸鎮 ※戩浜鎮(じんはん ちん)から名称変更 (H13) (中華人民共和国 上海市嘉定区)	H 7. 8. 20 H14. 8. 19 馬陸鎮と再提携 H17. 4. 14 薩摩川内市として再提携	旧入来町に立地している企業が、平成6年上海市戩浜鎮に合併会社を設立したことをきっかけとして相互交流が始まり、友好交流協議書の締結に至った。平成13年に戩浜鎮は馬陸鎮に吸収合併されたため、平成14年8月に馬陸鎮と友好交流樹立協議書の調印が行われた。
	ちゃんにょんぐん 昌寧郡 (大韓民国 慶尚南道)	H24. 5. 16	平成11年の川内大綱引400年祭に、昌寧郡の親善訪問団が参加したのをきっかけに交流が始まり、以後民間レベルでの交流を継続してきたが、さらに幅広い交流を推進するため、友好都市盟約を締結した。

市町村	提携先	提携年月日	締結の契機
日置市	スバンジャヤ市 (マレーシア スランゴール州)	H24. 10. 29	旧吹上町において「からいも交流」をきっかけにマレーシアと交流が始まり、平成13年には吹上町マレーシア交流実行委員会が設立されるなど交流が続けられてきたが、平成22年に在日マレーシア大使が日置市を訪問し、友好都市提携を強く希望されたことなどから、友好都市協定を締結することになった。
	南原市 (大韓民国・全 羅南道)	H20. 11. 1 R 5. 8. 30 追加締結	日置市と南原市は薩摩焼発祥が縁で、旧東市来町時代の平成10年に開催した「薩摩焼400年祭」を契機に交流を深め、平成20年「文化交流友好関係協約」を締結した。 令和5年両市間において文化面のさらなる発展を目的に「陶磁文化発展のための友好協力交流協約」が締結された。
曾於市	里港郷 (台湾屏東県)	R 5. 5. 16	相互の地域振興や人材育成に向け、国際交流の促進に協力して取り組み、観光や教育等における相互交流の発展や農産物、海産物等の物流の促進について協力するため、国際交流推進覚書(MOU)を締結した。
霧島市			
(旧隼人町)	耀州区 ※耀県から名称変更(H14) (中華人民共和国 陝西省)	H 7. 10. 23	平成5年「緑の遣唐使」により桜の木を植林し、翌平成6年、開花に伴い招へいを受けたのを契機として交流が始まり、友好関係合意書の締結に至る。
(旧霧島町)	ソノラ市 (アメリカ合衆国 カリフォルニア州)	H12. 7. 24	中高生を同市へホームステイに派遣し、平成9年からは国際交流員を置くなど語学教育や国際交流に力を入れてきた。人口もほぼ同規模で自然国立公園を持つなどの共通点を有することから、同市との姉妹都市盟約が締結された。
	瀏陽市 (中華人民共和国 湖南省)	H19. 10. 19	平成16年に京セラの招待で北京の中日友好協会会長及び瀏陽市副市長らが旧国分市を訪問。その御礼状と共に招待状が届いたため旧国分市長らが瀏陽市を訪問、友好都市提携を視野に入れての交流を開始。相互訪問等を経て、霧島市長との間で「友好交流関係の構築に関する協議書」の調印がなされた。
いちき串木野市			
(旧串木野市)	サリナス市 (アメリカ合衆国 カリフォルニア州)	S54. 5. 27 H17. 4. 14 いちき串木野市 として再提携	昭和30～31年に旧串木野市の住民がサリナス市に農業移住者として渡航しており、これを契機に両市民の間での交流が深まり、姉妹都市盟約が締結された。

市町村	提携先	提携年月日	締結の契機
南さつま市 (旧加世田市)	宿遷市 (中華人民共和国 江蘇省)	H14. 10. 27 H16. 10. 16 南さつま市として再提携	平成8年に江蘇省と友好交流を行っている鹿児島県から友好交流の話があり、旧加世田市において「加世田市国際交流推進協議会」が組織され、相互訪問を開始。平成10年から中国の国際交流員を招致するなど、交流が深まり、友好都市盟約締結に至る。
	旗津区 (台湾高雄市)	R 5. 1. 31	砂像文化や自転車活用など共通点が多く、友好交流協力覚書を締結した。
奄美市 (旧名瀬市)	ナカドゥチェス市 (アメリカ合衆国 テキサス州)	H 7. 4. 26	奄美看護福祉専門学校とアメリカ合衆国テキサス州のステファン・F・オースチン大学の学校間姉妹盟約締結を契機に、同大学があるナカドゥチェス市から旧名瀬市と姉妹盟約を締結したい旨の申入れがあり、両市間の調印に至った。
南九州市 (旧川辺町)	ずんちやんぐん 淳昌郡 (大韓民国 全北特別自治道)	H15. 4. 15	旧川辺町教育委員会が青少年交流の相手先について鹿児島県に相談したところ、県が韓国全羅北道と交流を進めていること、当時の県の国際交流員が全羅北道淳昌郡の出身であったこと、淳昌郡の地形・気候・産業構造などが旧川辺町に類似していることなどから淳昌郡を推薦され、交流が行われるようになり、友好交流協定締結に至った。
伊佐市 (旧大口市)	なんへぐん 南海郡 (大韓民国 慶尚南道)	H 3. 10. 16 (H21. 5. 16) 伊佐市として 再提携	観光関連助成事業として、十曾青少年旅行村に夏の開村期間に咲く花をということで「ムクゲ」を植栽した。その後「ムクゲ」が韓国の国花であることから、国際化時代に向け韓国との交流を進めることとし、韓日議員連盟を通じて南海郡を紹介され、姉妹都市盟約が締結された。
	花蓮市 (台湾 花蓮県)	R 6. 1. 31	駐福岡台湾総領事館総領事の紹介で交流が始まる。コロナ禍のなかオンライン交流を重ね、令和5年11月、花蓮市長等の伊佐市来訪を経て、令和6年1月に伊佐市が花蓮市を訪問し、友好交流協定を締結して今後の両市の交流推進を確認した。 将来的に官民の交流が進んだ段階で、姉妹都市盟約の締結を目指す。

市町村	提携先	提携年月日	締結の契機
長島町	きるさんみよん 吉祥面 (大韓民国 仁川広域市江華郡)	H 6. 5. 30	韓国本土と江華大橋で結ばれた江華島中にある吉祥面、黒之瀬戸大橋で九州本土と結ばれた長島町。このように「橋を渡る町」という地理的に共通した要因をもつことをきっかけに相互交流が始まり、姉妹盟約が締結された。
南大隅町	庄行鎮 (中華人民共和国 上海市)	H20. 1. 22	平成15年に合併前の旧佐多町で民間レベルの交流が始まったのがきっかけとなり、平成20年1月に中国の現地で南大隅町長も出席して、産業・文化・教育などの幅広い分野で交流を進めることとし、友好都市交流の協定書の締結に至った。
徳之島町 天城町 伊仙町	ちよんどうぐん 清道郡 (大韓民国 慶尚北道)	H15. 3. 14	徳之島、清道郡の闘牛大会を通して交流が始まり、平成14年全国闘牛サミットの開催が徳之島町に決定したことから、奄美群島交流事業の一環として「日韓闘牛文化交流の夕べ in 徳之島」を開催し、郡守をはじめオンヌリ芸術団を招待したことから、さらに交流が深まり、友好協定書の締結に至った。
和泊町	望牛トン鎮 (中華人民共和国 東莞市)	H 9. 8. 1	平成8年8月、中国広東省在住の和泊町出身実業家より、「国際交流によるまちづくりが和泊町の未来を開く。21世紀は中国の時代と言われるので、経済交流を中心とした交流を進める適地がある。」と東莞市望牛トン鎮の紹介を受けた。町議会や国際交流協会等と協議し、同年10月に第1回訪中団を派遣した。同年12月には中国側の訪問団を受入、友好交流関係樹立に合意した。平成9年3月に第2回訪中団を派遣し、同年8月に和泊町で調印式が行われた。
与論町	ミコノス市 (ギリシャ)	S59. 11. 14	与論町を世界の観光・行楽地作りをするために「海と観光の町同士として、国際親善を深めると共に町づくりの参考にするため」ギリシャ政府観光局と協議の末、姉妹盟約が締結された。

※旧桜島町の米国カリフォルニア州リポン市との友好都市盟約(昭和61年締結)は、鹿児島市との合併(平成16年11月1日)を機に終了。

※さつま町(旧宮之城町)と中華人民共和国浙江省安吉県との姉妹都市盟約(平成11年締結)は、平成17年の合併・新町誕生後は姉妹都市関係の再締結は行われず、事実上の提携解消となった。

※南大隅町(旧根占町)とギニア共和国コヤ県は、平成2年に姉妹盟約を締結するも、交流実績がなく、平成20年度に事実上の提携解消となった。

※南九州市(旧穎娃町)と中国杭州市西湖郷の友好協力盟約は、平成19年度の市町村合併に伴い解消した。

※天城町とフィリピン共和国シライ市は、平成2年に姉妹都市盟約を締結するも、交流実績がなく、平成29年度に事実上の提携解消となった。

4 在留外国人数

(1) 地域・国籍別在留外国人数 (鹿児島県)

令和5(2023)年12月現在

地域	登録国名称	人数	地域	登録国名称	人数	
アジア	アフガニスタン	31	アフリカ	ウガンダ	3	
	イスラエル	2		エジプト	13	
	イラン	4		エチオピア	1	
	インド	48		エリトリア	1	
	インドネシア	2,605		ギニア	1	
	韓国	480		ケニア	10	
	朝鮮	26		コートジボワール	2	
	カンボジア	236		シエラレオネ	2	
	シリア	3		ジンバブエ	3	
	シンガポール	6		ソマリア	1	
	スリランカ	60		タンザニア	9	
	タイ	107		チュニジア	2	
	台湾	150		ナイジェリア	6	
	中国	1,717		ブルキナファソ	1	
	トルコ	9		ベナン	5	
	ネパール	691		マダガスカル	1	
	パキスタン	93		マラウイ	3	
	バングラデシュ	76		マリ	1	
	フィリピン	2,460		南アフリカ共和国	12	
	ブータン	1		南スーダン共和国	1	
	ベトナム	5,607		モロッコ	3	
	マレーシア	42		小計	81	
	ミャンマー	796		北米	エルサルバドル	3
	モンゴル	27			カナダ	58
ラオス	50	キューバ	1			
小計	15,327	コスタリカ	2			
ヨーロッパ	アイルランド	10	ジャマイカ		7	
	アルバニア	1	セントルシア		1	
	イタリア	12	ドミニカ共和国		2	
	ウクライナ	26	トリニダード・トバゴ		2	
	ウズベキスタン	39	米国		312	
	英国	104	メキシコ		7	
	エストニア	1	小計	395		
	オーストリア	4	南米	アルゼンチン	7	
	オランダ	9		エクアドル	1	
	カザフスタン	3		ガイアナ	5	
	ギリシャ	1		コロンビア	3	
	キルギス	5		チリ	5	
	スイス	4		パラグアイ	5	
	スウェーデン	6		ブラジル	133	
	スペイン	15		ベネズエラ	2	
	スロバキア	1		ボリビア	1	
	チェコ	2		ペルー	16	
	デンマーク	2	小計	178		
	ドイツ	26	オセアニア	オーストラリア	49	
	ノルウェー	2		ソロモン	4	
	ハンガリー	1		ニュージーランド	23	
	フランス	37		フィジー	3	
	ブルガリア	2		ミクロネシア	2	
	ベラルーシ	2	小計	81		
ベルギー	1	無国籍	8			
ポーランド	8	合計(100か国・地域)	16,417			
ポルトガル	2					
ルーマニア	9					
ロシア	12					
小計	347					

(出典：法務省「在留外国人統計」)

(2) 在留外国人数の推移（鹿児島県）



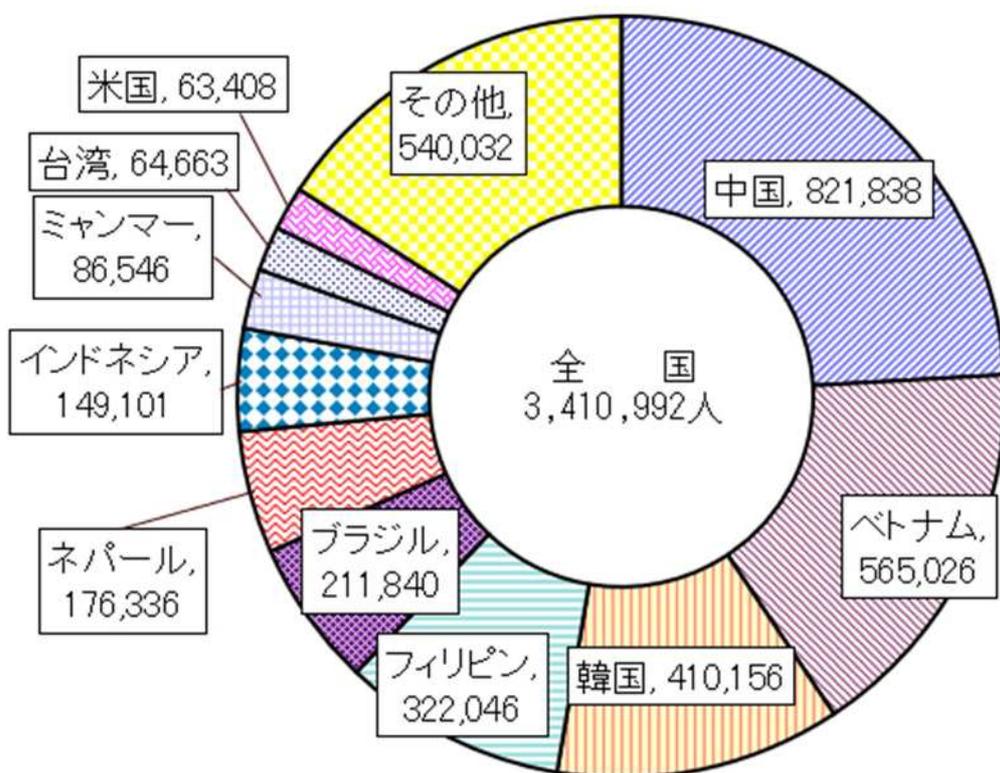
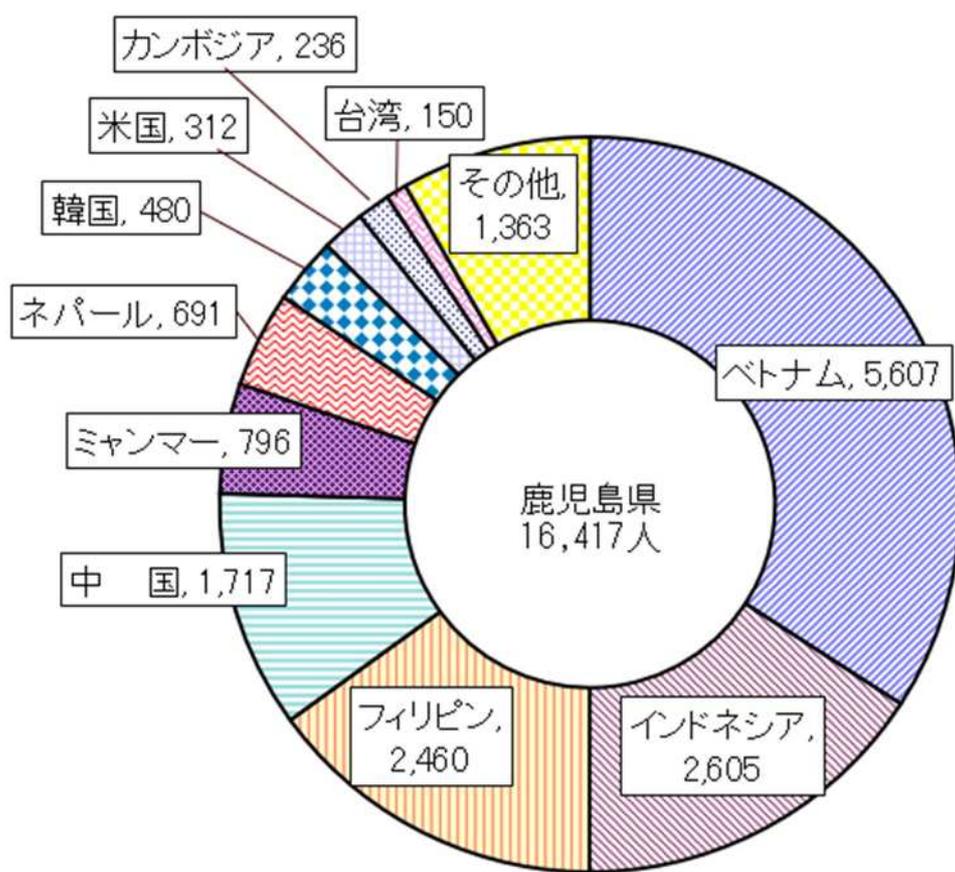
(注) 平成23（2011）年までは外国人登録者数，平成24（2012）年以降は在留外国人数を掲載しており，それぞれの対象範囲が異なるため，単純に数値を比較することはできない。

(3) 都道府県別在留外国人数(令和5(2023)年12月現在)

都道府県名	在留外国人数	人 口	外国人/人口	順位
北海道	56,485	5,092,000	1.11%	35
青森	7,797	1,184,000	0.66%	46
岩手	10,173	1,163,000	0.87%	45
宮城	27,009	2,264,000	1.19%	33
秋田	5,280	914,000	0.58%	47
山形	9,326	1,026,000	0.91%	44
福島	18,070	1,766,000	1.02%	39
茨城	91,694	2,824,000	3.25%	9
栃木	51,073	1,897,000	2.69%	15
群馬	74,154	1,902,000	3.90%	3
埼玉	234,698	7,332,000	3.20%	10
千葉	204,091	6,257,000	3.26%	7
東京	663,362	14,086,000	4.71%	1
神奈川	267,523	9,229,000	2.90%	12
新潟	21,558	2,127,000	1.01%	41
富山	22,460	1,007,000	2.23%	19
石川	19,407	1,109,000	1.75%	24
福井	17,595	745,000	2.36%	17
山梨	21,502	796,000	2.70%	14
長野	43,075	2,003,000	2.15%	20
岐阜	69,477	1,931,000	3.60%	5
静岡	115,642	3,555,000	3.25%	8
愛知	310,845	7,477,000	4.16%	2
三重	64,420	1,726,000	3.73%	4
滋賀	40,743	1,406,000	2.90%	13
京都	75,818	2,535,000	2.99%	11
大阪	301,490	8,763,000	3.44%	6
兵庫	131,756	5,370,000	2.45%	16
奈良	17,614	1,296,000	1.36%	30
和歌山	9,090	892,000	1.02%	40
鳥取	5,604	538,000	1.04%	38
島根	10,350	650,000	1.59%	27
岡山	35,928	1,847,000	1.95%	22
広島	62,363	2,738,000	2.28%	18
山口	19,622	1,298,000	1.51%	28
徳島	7,949	696,000	1.14%	34
香川	17,312	925,000	1.87%	23
愛媛	16,384	1,291,000	1.27%	31
高知	6,129	667,000	0.92%	43
福岡	99,695	5,103,000	1.95%	21
佐賀	9,764	795,000	1.23%	32
長崎	13,590	1,267,000	1.07%	36
熊本	25,589	1,709,000	1.50%	29
大分	18,108	1,096,000	1.65%	26
宮崎	9,752	1,043,000	0.93%	42
鹿児島	16,417	1,549,000	1.06%	37
沖縄	25,447	1,468,000	1.73%	25
未定・不詳	7,762	-	-	-
合計	3,410,992	124,352,000	2.74%	

※ この表の人口は、総務省統計局発表の確定値(令和5年10月1日現在)による。

(4) 鹿児島県及び全国の国籍別在留外国人数 (令和5 (2023) 年12月現在)



5 外国青年招致事業（JETプログラム）による外国青年の配置状況

（令和6（2024）年12月現在）

①国際交流員（CIR）

（単位：人）

任用団体	配置数		
		再任用	新規
鹿児島県	3	1	2
鹿児島市	3	3	
鹿屋市	1	1	
薩摩川内市	1		1
日置市	2	2	
霧島市	2		2
奄美市	1	1	
大崎町	2		2
錦江町	1		1
肝付町	1		1
徳之島町	1	1	
小計	18	9	9

②外国人指導助手（ALT）

（単位：人）

任用団体	配置数		
		再任用	新規
鹿児島県教委	38	24	14
鹿児島市 "	21	16	5
枕崎市 "	1		1
阿久根市 "	1	1	
出水市 "	5	3	2
指宿市 "	2	1	1
西之表市 "	1		1
薩摩川内市 "	4	2	2
日置市 "	4	2	2
曾於市 "	2	1	1
霧島市 "	5	3	2
いちき串木野市 "	4	2	2
南さつま市 "	3	1	2
志布志市 "	3	3	
奄美市 "	4	2	2
三島村 "	4	2	2
十島村 "	7	5	2
湧水町 "	1	1	
中種子町 "	1	1	
南種子町 "	1	1	
屋久島町 "	1	1	
瀬戸内町 "	2	1	1
喜界町 "	1	1	
徳之島町 "	2	1	1
天城町 "	1		1
伊仙町 "	1	1	
和泊町 "	1	1	
小計	121	77	44

※あっせん辞退や中途退職等により、一部で欠員が発生している。

6 留学生の受入状況

(1) 国費・私費等別留学生数【県内在住者】

(単位：人, 令和6(2024)年5月1日現在)

大 学 名	国費	外国政府派遣	県費	私費	その他	合計
鹿 児 島 大 学	33	6	3	307	0	349
鹿 屋 体 育 大 学	0	0	0	11	0	11
鹿 児 島 国 際 大 学	0	0	0	62	11	73
第 一 工 科 大 学	0	0	0	57	0	57
志 學 館 大 学	0	0	0	2	0	2
鹿 児 島 純 心 大 学	0	0	0	3	0	3
鹿 児 島 県 立 短 期 大 学	0	0	0	0	2	2
鹿 児 島 女 子 短 期 大 学	0	0	0	0	0	0
鹿 児 島 工 業 高 等 専 門 学 校	3	2	0	0	0	5
合 計	36	8	3	442	13	502

(2) 国籍別・大学等別留学生数【県内在住者】

〈単位：人，令和6(2024)年5月1日現在〉												
地域	国名	鹿児島	鹿屋	鹿児島	第一	志学館	鹿児島	鹿児島	鹿児島	鹿児島	鹿児島	合計
		大学	体育大学	国際大学	工科大学	大学	純心大学	純心女子短期大学	俱立短期大学	女子短期大学	工業高等専門学校	
アジア	ミャンマー	1			1					1		3
	バングラデシュ	14										14
	カンボジア	6									1	7
	スリランカ	2										2
	中国	176	10	62	44				2			294
	台湾	3	1	5	1	1	3					14
	インドネシア	11										11
	韓国	54		5	1							60
	マレーシア	11									2	13
	モンゴル				1						1	2
	ネパール	2			4							6
	パキスタン	3										3
	フィリピン	2										2
	タイ	4										4
	トルコ	4										4
	ベトナム	12				4	1					17
	イラン	1										1
インド	2										2	
小計		308	11	72	58	2	3	0	2	0	4	458
ヨーロッパ	スペイン	2										2
	フランス	5										5
	ドイツ	4										4
	ノルウェー	2										2
	イギリス	1		1								2
	小計		14		1							
アフリカ	ベナン											
	ケニア	1			1							2
	タンザニア	3										3
	ウガンダ											
	シエラレオネ	2										2
	エジプト	1										1
	ジンバブエ	1										1
	マラウイ	2										2
	エチオピア	1										1
	カメルーン										1	1
	ソマリア	1										1
南スーダン	1										1	
小計		13			1						1	15
北米	アメリカ合衆国	2										2
	小計		2									2
中南米	ブラジル	2										2
	セントルシア	1										1
	ペルー	3										3
	小計		6									6
オセアニア	オーストラリア	2										2
	オーストリア	1										1
	フィジー	1										1
	ソロモン諸島	2										2
	小計		6									7
合計		349	11	73	57	2	3		2	1	5	503

※ 県内在住者のみ

(3) 大学の国籍別外国人留学生の推移

① 鹿児島大学（県外在住留学生を含む）

鹿児島大学国籍別外国人留学生数の推移

(各年5月1日現在)

区域	国名	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
ア ジ ア	インドネシア	14	18	19	15	15	13	13	19	19	16
	カンボジア							0	1	4	6
	中華人民共和国	109	130	135	143	143	131	119	84	159	173
	インド								0	1	3
	フィリピン	24	18	20	19	17	10	8	0	13	12
	大韓民国	41	31	34	34	45	40	35	45	52	54
	タイ					1	1	1	2		
	マレーシア	10	9	8	7	7	6	6	11	12	11
	モンゴル										
	ミャンマー	3	3	2	2	1	1	2	3	4	2
	ネパール	4	3	3	3	4	4	3	3	2	2
	パキスタン	3	2	1	1					3	3
	フィリピン	4	5	2	2			1	2	6	3
	シンガポール										
	スリランカ	3	5	5	6	5	3	6	8	6	6
	タイ	6	4	3	6	4	6	6	6	5	6
	ベトナム	19	22	26	37	41	39	36	34	29	18
	香港				1	1	1	1			
	マカオ										
	台湾	4	3	2	9	13	3	2	3	4	3
タジキスタン						1					
ブータン											
中 東	イラン	2	1	1						1	1
	イスラエル										
	レバノン										
	ヨルダン										
	ヨルダン										
	ヨルダン										
	トルコ	3	3	2	1	2	2	1	1	5	4
	イエメン										
	クウェート										
	オーストラリア	1	2	2	3	5	1	1	0	3	2
大 洋 州	オーストラリア										
	フィジー	2	3	2	3	2	0	3	3	2	1
	カリブス								0		
	パプアニューギニア		1	1	1	1		1			
	ソロモン諸島	1	1	2	3	3	1	1	1	2	2
	トンガ										
	ツバル										
	バヌアツ				1	1	1	1			
	マーシャル諸島										
	カメルーン										1
ア フ リ カ 州	民主共和国										
	コートジボワール										
	ガボン										
	エジプト	3	6	3	2	1	0		1	1	1
	エチオピア									1	2
	ガーナ				1	1					
	ギニア							2	2	1	1
	リビア										
	スーダン									1	1
	マダガスカル	1		1	1	2	1	1		1	2
	モリタニア										
	ナイジェリア	2	1	1							
	セネガル								1	2	2
	シエラレオネ										
	チュニジア		2	3	3	5	3	2	1	3	3
	タンザニア										
	ザンビア	3									
	マダガスカル										
	ジンバブエ	1	1								1
	ソマリア										1
エリトリア	1	1	2	1		1	1			1	
ウガンダ							1	1	1	1	
ベナン	2	2	2	4	3	2	2	1	1	1	
欧 州	フィンランド										
	イギリス	1									1
	フランス	2	3	2	1	5	3		2	7	5
	ドイツ	3	3	3	2	3			1	5	4
	オーストリア										
	オランダ										
	ルーマニア			1							
	スペイン	1	1	2	2	1	1	1	1	1	2
	スウェーデン										
	ブルガリア	1				1	1				
	オーストリア										
	スウェーデン										
	ハンガリー	1	1								
	キルギス	1									
	カザフスタン								1	1	
ラトビア						1					
ノルウェー							1			3	
ウクライナ									1		
リトアニア									1		
北 ア メ リ カ 州	ロシア										
	アメリカ合衆国		1	1		4	1	1	2	2	2
	バルバドス										
	カナダ										
	ニカラガ	1									
	グアテマラ										
	ホンジュラス										
	メキシコ										
	パナマ	1	1	2	2	1					
	バハマ	1	1	1	1						
南 ア メ リ カ 州	アルゼンチン										
	ボリビア										
	ブラジル	2	4	3	4	4	3	4	3	3	2
	パラグアイ										
	チリ										
	グアテマラ										
	コロンビア										
	エクアドル										
	ペルー	1	1	1	1	1	1	1	1	2	3
	キューバ										
ジャマイカ											
ウルグアイ											
ニカラガ											
セントルシア								1	1	1	
合 計	282	294	300	324	348	286	267	267	365	365	

(4) 県費留学生の受入状況

県費留学生とは、鹿児島県から海外に移住した人たちの子弟を県内の大学に留学させ、母県の実態を周知させるとともに、本県と移住先国との緊密化に貢献する人材を育成する制度。

① 県費留学生受入実績

(単位：人)

年度	アルゼンチン			ブラジル			ペルー			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
S45からS56		4	4	4	13	17	1	2	3	5	19	24
S57		1	1	1	1	2			0	1	2	3
58		1	1		2	2			0	0	3	3
59	1		1	1	1	2		1	1	2	2	4
60			0	1	1	2		1	1	1	2	3
61		1	1	1	1	2		1	1	1	3	4
62		1	1	1	1	2			0	1	2	3
S63		1	1	1	1	2		1	1	1	3	4
H1	1		1	1	1	2			0	2	1	3
2		1	1		2	2	1		1	1	3	4
3			0	1	1	2		2	2	1	3	4
4	1		1	1	1	2		1	1	2	2	4
5			0	1	1	2		1	1	1	2	3
6	1		1	1	2	3			0	2	2	4
7		1	1		2	2		1	1	0	4	4
8			0		2	2		2	2	0	4	4
9			0	2		2			0	2	0	2
10	1		1	1	1	2	1		1	3	1	4
11			0		2	2			0	0	2	2
12			0		2	2		1	1	0	3	3
13		1	1		3	3			0	0	4	4
14			0		1	1	1		1	1	1	2
15		1	1		2	2		1	1	0	4	4
16	1		1		2	2			0	1	2	3
17			0	1	1	2	1		1	2	1	3
18			0	2	1	3			0	2	1	3
19			0	1		1		1	1	1	1	2
20		1	1		1	1			0	0	2	2
21			0	1		1			0	1	0	1
22			0		2	2			0	0	2	2
23			0		2	2			0	0	2	2
24			0		1	1	1		1	1	1	2
25			0	1		1	1		1	2	0	2
26			0		2	2	1		1	1	2	3
27			0	1	1	2		1	1	1	2	3
28			0	1	1	2		1	1	1	2	3
29			0		2	2	1		1	1	2	3
H30			0	1	1	2	1		1	2	1	3
R1			0	1	1	2		1	1	1	2	3
2			0			0			0	0	0	0
3			0			0			0	0	0	0
4			0	1	1	2	1		1	2	1	3
5			0		2	2		1	1	0	3	3
6			0		2	2	1		1	1	2	3
合計	6	14	20	29	67	96	12	20	32	47	101	148

※ 令和2, 3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止

※ 令和6年度の3名の県費留学生は、全員鹿児島大学に留学

8 鹿児島県からの青年海外協力隊員派遣状況

地域	派遣人員累計			左記のうち現在派遣期間中の隊員(短期を除く)			備考
	国名	隊員数	性別	隊員数	性別	備考	
アジア	インドネシア	21	男11 女10				
	マレーシア	23	男13 女10	2	男2 女0		
	タイ	35	男30 女5				
	フィリピン	22	男12 女10				
	ジャバ	17	男10 女7	1	男0 女1		
	東モロ	16	男8 女8				
	インドネシア	4	男2 女2	1	男0 女1		
	ベトナム	11	男4 女7				
	中国	19	男8 女11				
	韓国	10	男2 女8				
	ロシア	7	男1 女6				
	ウズベキスタン	1	男0 女1				
	インドネシア	10	男4 女6	1	男0 女1		
	シンガポール	27	男17 女10				
	インドネシア	4	男3 女1				
インドネシア	6	男3 女3					
インドネシア	41	男19 女22					
インドネシア	2	男0 女2					
インドネシア	25	男16 女9	1	男1 女0			
インドネシア	19	男4 女15					
インドネシア	30	男163 女138	6	男3 女3			
大洋州	ニュージーランド	9	男4 女5				
	オーストラリア	2	男1 女1				
	ニュージーランド	7	男3 女4				
	ニュージーランド	4	男3 女1				
	ニュージーランド	10	男10 女0				
	ニュージーランド	13	男9 女4	1	男0 女1		
	ニュージーランド	7	男5 女2	1	男1 女0		
	ニュージーランド	4	男2 女2				
	ニュージーランド	14	男9 女5				
	ニュージーランド	5	男0 女5				
ニュージーランド	75	男46 女29	3	男1 女2			
北米中南米	アメリカ	3	男1 女2				
	アメリカ	9	男6 女3				
	アメリカ	1	男1 女0				
	アメリカ	19	男15 女4				
	アメリカ	13	男7 女6	1	男1 女0		
	アメリカ	13	男6 女7				
	アメリカ	26	男14 女12				
	アメリカ	8	男5 女3				
	アメリカ	7	男1 女6				
	アメリカ	4	男1 女3				
	アメリカ	11	男3 女8				
	アメリカ	22	男8 女14				
	アメリカ	5	男4 女1				
	アメリカ	18	男13 女5				
	アメリカ	23	男6 女17				
	アメリカ	2	男1 女1				
	アメリカ	7	男3 女4				
	アメリカ	13	男10 女3				
アメリカ	31	男11 女20					
アメリカ	17	男8 女9					
アメリカ	4	男3 女1					
アメリカ	3	男2 女1					
アメリカ	22	男10 女12					
アメリカ	11	男10 女1					
アメリカ	11	男5 女6					
アメリカ	1	男1 女0					
アメリカ	4	男0 女4					
アメリカ	25	男10 女15	1	男0 女1			
アメリカ	9	男4 女5					
アメリカ	61	男30 女31	1	男0 女1			
アフリカ	スーダ	4	男1 女3				
	スーダ	10	男8 女2				
	スーダ	18	男12 女6				
	スーダ	31	男23 女8	1	男1 女0		
	スーダ	35	男23 女12				
	スーダ	3	男3 女0				
	スーダ	37	男23 女14				
	スーダ	1	男0 女1				
	スーダ	2	男2 女0				
	スーダ	15	男8 女7				
	スーダ	31	男22 女9	1	男1 女0		
	スーダ	32	男19 女13				
	スーダ	3	男1 女2				
	スーダ	3	男1 女2				
	スーダ	5	男1 女4				
	スーダ	1	男0 女1				
	スーダ	5	男1 女4				
	スーダ	8	男2 女6				
	スーダ	3	男0 女3	1	男0 女1		
	スーダ	6	男3 女3				
スーダ	2	男1 女1					
スーダ	1	男1 女0					
スーダ	1	男5 女2					
スーダ	13	男8 女5					
スーダ	4	男1 女3					
スーダ	19	男10 女9					
スーダ	26	男180 女119	4	男3 女1			
欧州	トルコ	2	男1 女1				
	トルコ	4	男2 女2				
	トルコ	2	男1 女1				
	トルコ	4	男4 女0				
	トルコ	2	男2 女0				
トルコ	14	男10 女4					
合計	88	男558 女451	15	男8 女7			

9 海外鹿児島県人会

海外在住の鹿児島県出身者が中心となって設立された鹿児島県人会は、令和6年12月末現在、世界20か国・地域に27団体あります。

また、鹿児島県出身者だけでなく、現地の鹿児島ファンの方々も含めたアジアかごしまクラブは、香港、シンガポール、韓国全北特別自治道の3か国・地域にあります。

各団体では、会員同士の交流会や各種イベント等を通じ、鹿児島との情報交換や現地で鹿児島のPRを行うなど、鹿児島県出身者・関係者間の親睦を深めています。



		国・地域		名称			国・地域		名称		
鹿児島県人会	鹿	1	北米	アメリカ	南加鹿児島県人会	鹿児島県人会	アジア	17	タイ	タイ国鹿児島県人会	
	鹿	2			北カリフォルニア鹿児島県人会			18	マレーシア	マレーシア鹿児島県人会	
	児	3			ハワイ鹿児島県人会			19	シンガポール	シンガポール薩摩会	
	島	4			シアトル鹿児島県人会倶楽部			20	インドネシア	ジャカルタ鹿児島県人会	
	島	5			NY奄美会			21	ミャンマー	ミャンマー鹿児島県人会	
	県	6	ブラジル	ブラジル鹿児島県人会	22			ベトナム	鹿児島県人会ハノイ		
	人	7	アルゼンチン	アルゼンチン鹿児島県人会	23				ホーチミン鹿児島県人会		
	会	8	パラグアイ	パラグアイ鹿児島県人会	24			フィリピン	マニラ鹿児島県人会		
		9	ペルー	ペルー鹿児島県人会	25			大洋州	オーストラリア	シドニー鹿児島県人会	
		10	ドミニカ	ドミニカ鹿児島県人会	26			ヨーロッパ	フランス	在フランス鹿児島県人会	
		11	韓国	ソウル薩摩会	27			イギリス	UK薩摩藩		
		12		北京さつま会	①			香港	香港かごしまクラブ		
		13	アジア	中国	上海鹿児島県人会			②	アジア	シンガポール	かごしまクラブシンガポール
		14		ぼっけもん会(蘇州鹿児島県人会)	③				韓国	全羅北道かごしまクラブ	
		15		香港	香港鹿児島県人会						
		16		台湾	台湾鹿児島県人会						

10 公益財団法人鹿児島県国際交流協会

(1) 概要

公益財団法人鹿児島県国際交流協会は、県民の交流・協力推進のため、県・市町村・財界の協力を得て設立された公益法人である。

平成2年1月に自治大臣から国際交流を推進するにふさわしい中核的国際交流組織である「地域国際化協会」の認定を受けるとともに、同年7月には「国際交流プラザ」の管理・運営を県から委託されている。また、平成24年4月には、鹿児島県の認定を受けて公益財団法人となった。

同協会は、情報収集・提供等による国際理解の推進、海外や在住外国人との交流、国際交流団体との連携・支援、国際交流ボランティアの登録等による国際交流活動の展開、在住外国人と日本人との相互理解・異文化交流等による多文化共生社会の推進、留学生への支援や国際協力機関等との連携等による国際協力の推進など、様々な活動を行っている。

① 設置の目的

鹿児島と諸外国との交流や地域レベルの国際交流並びに国際協力を積極的に推進するとともに、国際理解を深め、国際性豊かな地域社会づくりに寄与する。

② 名称等

公益財団法人鹿児島県国際交流協会

会長 塩田 康一 (鹿児島県知事)

理事長 岩元 文雄 (鹿児島経済同友会代表幹事)

③ 所在地

〒892-0816

鹿児島市山下町14-50 カクイックス交流センター (かごしま県民交流センター) 1階

TEL : 099-221-6620, FAX : 099-221-6643

④ 事業内容

ア 国際理解の推進

施設の運営及び情報収集提供機能の拡充、広報出版活動の充実、国際理解事業の推進

イ 国際交流活動の展開

海外との相互交流の推進、在住外国人との交流促進、国際交流組織の連携・支援の強化、国際交流ボランティア制度の拡充、旅券発給業務補助を通じた海外交流等の環境づくり

ウ 多文化共生の推進

在住外国人と日本人の相互理解の促進、異文化交流の促進

エ 国際協力の推進

留学生への支援、国際協力に対する理解の促進、国際協力機関等との連携

⑤ 組織の沿革

昭和2年9月	鹿児島県海外移住組合設立（昭和25年4月1日 組合廃止）
昭和30年2月1日	鹿児島県海外協会設立（任意団体）
11月5日	財団法人鹿児島県海外協会設立
昭和62年4月27日	財団法人鹿児島県国際交流協会に名称・目的変更
平成2年1月	自治大臣から「地域国際化協会」に認定
7月	鹿児島商工会議所ビルに国際交流プラザ設置
平成15年4月	国際交流プラザがかごしま県民交流センターに移転
平成24年4月	公益財団法人鹿児島県国際交流協会に名称変更

(2) 事業実績

1	事業名	国際交流プラザの運営
	開始年度	平成2年度
	事業概要	県の委託を受けて、国際交流プラザ（国際交流サロン、会議室、各種交流機能等）が、在住外国人を含む県民や関係団体等に幅広く利用されるよう運営を行う。
	令和5年度実績	国際交流サロン利用者数：5,469人 来訪者数：2,903人 会議室利用者数（協会会議室）：795人 会議室利用者数（研修室等）：3,163人
令和6年度計画 （実績を含む）	令和6年度も事業を引き続き実施する。	
2	事業名	国際交流プラザのサービス機能の提供
	開始年度	平成2年度
	事業概要	海外渡航や留学情報、海外事情、語学、異文化理解、鹿児島島の情報などの図書等の収集・充実、また、海外の新聞・雑誌等の定期購読を行い、在住外国人を含む県民への閲覧を行う。
	令和5年度実績	国際交流サロン内に、 図書類：2,015冊 ビデオ・DVD：107巻 外国新聞：2紙 外国雑誌：4紙 を設置した。
令和6年度計画 （実績を含む）	随時、語学学習・異文化理解等に役立つ図書等のさらなる収集・充実を図りつつ、令和5年度の事業を引き続き実施する。	
3	事業名	国際交流プラザのサービス機能の提供
	開始年度	平成2年度
	事業概要	在住外国人を含む県民に対して、国際交流や留学等に関する情報提供を行う。
	令和5年度実績	国際交流サロン内に、県内外各団体からのイベントや語学講座等の案内、および留学ガイド等を設置した。 また、日本人の県民向けに「留学・ワーキングホリデーセミナー」を実施した。
令和6年度計画 （実績を含む）	令和6年度も事業を引き続き実施する。	
4	事業名	インターネットによる情報収集提供機能の充実
	開始年度	平成10年度
	事業概要	インターネットによる海外事情等の情報収集を行うとともに、ホームページやFacebookにより、在住外国人を含む県民に対して、協会事業等の案内など情報提供を行う。
	令和5年度実績	日本語、英語、ベトナム語、中国語、韓国語の多言語によるホームページ及び

		Facebookの運営・更新を適時に行い、協会の事業案内や支援制度、防災関連情報など様々な情報を提供した。
	令和6年度計画 (実績を含む)	令和6年度も引き続き実施する。
5	事業名	日本語情報誌「暖流」の発行
	開始年度	平成5年度
	事業概要	県内の国際交流活動情報を盛り込んだ、主に日本人の県民向けの日本語情報誌を発行する。
	令和5年度実績	令和6年3月1,000部発行し、県内国際交流協会、友好協会、協力団体などに配布するとともに、ホームページに掲載した。
	令和6年度計画 (実績を含む)	令和6年度も引き続き実施する。
6	事業名	英文情報誌「South Wing」の発行
	開始年度	平成元年度
	事業概要	県内の国際交流活動情報を盛り込んだ、主に在住外国人向けの英語情報誌を発行する。
	令和5年度実績	令和6年3月600部発行し、県内市町村、県内教育機関（外国語指導助手ならびに大学等）、語学教室などに配布するとともに、ホームページに掲載した。
	令和6年度計画 (実績を含む)	令和6年度も引き続き実施する。
7	事業名	「国際交流ひろば」の発行
	開始年度	平成12年度
	事業概要	協会や県内国際交流団体等のイベント情報等を盛り込んだ、在住外国人を含む県民向けの、日本語及び「やさしいこほんご」による情報誌を発行する。
	令和5年度実績	2か月に1回（4・6・8・10・12・2月号）、6ページの紙面で作成し、県内市町村、教育機関（県内中学校ならびに高校、大学）、県内図書館などの他に、県庁各課、地域振興局、県立施設などを配布先として約600部発行し、紙媒体での配布及びメールにて電子媒体による配布、またホームページ・FBへの掲載を行った。
	令和6年度計画 (実績を含む)	令和6年度は春号・夏号・秋号・冬号と年に4回発行する。 令和6年春号・夏号・秋号は作成済。
8	事業名	文化講座等の開催（在住外国人による公募型国際理解講座）
	開始年度	平成21年度
	事業概要	在住外国人が自ら企画・実施する国際理解講座を公募し、その開催を支援することで、在住外国人が本県の多文化共生の地域づくりに積極的に参画する機運を醸成する。

	令和5年度実績	〔鹿児島市内〕 9月「ネパール料理の紹介」 12月「台湾文化の紹介」 〔鹿児島市外〕 12月「フィリピン文化の紹介」 講師：全講座とも当該国出身の県内在住外国人 実施回数：3回 参加者数：57名
	令和6年度計画 (実績を含む)	事業見直しにより県委託事業内で実施
9	事業名	文化講座等の開催（ベトナム理解講座）
	開始年度	令和2年度
	事業概要	在住外国人のうち、近年、急激にその数が増加しているベトナム人の母国について、主に日本人の県民を対象に、在住ベトナム人を講師として、歴史、民族、文化、生活、言語等、多岐にわたる実情を学び理解するための講座を開催する。
	令和5年度実績	実施回数：1回 参加者数：26名
	令和6年度計画 (実績を含む)	事業見直しにより県委託事業内で実施
10	事業名	ベトナム語入門講座の開催
	開始年度	令和6年度
	事業概要	県内に在住する外国人のうち、最もその数が多いベトナム人の文化や生活習慣などの理解を深めるとともに友好関係を築くため、ベトナム人講師によるベトナム語講座を開催する。
	令和5年度実績	—
	令和6年度計画 (実績を含む)	令和6年12月末までで15回実施済み。
11	事業名	文化講座等の開催（「英語絵本のよみかたり」講座）
	開始年度	平成24年度
	事業概要	幼児から小学校低学年までの児童とその保護者を対象に、県国際交流員が英語により絵本の読みかたりを行い、子供たちが英語に触れる機会を提供し英語への関心を高める。
	令和5年度実績	実施回数：8回 参加者人数：140名
	令和6年度計画 (実績を含む)	事業見直しにより廃止
12	事業名	文化講座等の開催（ランチタイム・イングリッシュ・クラブ 令和6年度より「ワールドトークサロン 英語」に名称変更）
	開始年度	平成4年度
	事業概要	英語圏出身の県国際交流員がコーディネーターとなり、主に日本人の県民を参加者として、異文化や海外事情などをテーマとする意見交換会を英語で行う。
	令和5年度実績	令和5年度は4月より講座時間を12:00～13:00の60分へ拡大し、概ね毎週金曜

		日に実施。また月に一度土曜日にも実施した。 実施回数：43回 参加者数：延べ651名
	令和6年度計画 (実績を含む)	「ワールドトークサロン 英語」と名称変更して実施
13	事業名	文化講座等の開催(中国語ランチタイムトーク 令和6年度より「ワールドトークサロン 中国語」に名称変更)
	開始年度	平成22年度
	事業概要	中国出身の県国際交流員がコーディネーターとなり、主に日本人の県民を参加者として、異文化や海外事情などをテーマとする意見交換会を中国語で行う。
	令和5年度実績	国際交流員が着任できなかったため、鹿児島大学の留学生2名を講師として11月より実施。月2回(木曜日(12:00~13:00)と土曜日(13:30~14:30)のそれぞれ各1回)開催した。 実施回数：10回 参加者数：延べ66名
	令和6年度計画 (実績を含む)	「ワールドトークサロン 中国語」と名称変更して実施
14	事業名	文化講座等の開催(韓国語ランチタイムトーク 令和6年度より「ワールドトークサロン 韓国語」に名称変更)
	開始年度	平成23年度
	事業概要	韓国出身の県国際交流員がコーディネーターとなり、主に日本人の県民を参加者として、異文化や海外事情などをテーマとする意見交換会を韓国語で行う。
	令和5年度実績	令和5年は4月より講座時間を12:00~13:00の60分へ拡大し概ね毎週水曜日に実施。実施回数：37回 参加者数：延べ260名
	令和6年度計画 (実績を含む)	「ワールドトークサロン 韓国語」と名称変更して実施
15	事業名	国際理解プログラム事業(協力隊OBと留学生が先生事業)
	開始年度	平成7年度
	事業概要	青年海外協力隊鹿児島県OB会、鹿児島県青年海外協力隊を支援する会及び協会 で組織する実行委員会において、協力隊OB及び県内大学等の留学生を県内の小 中学校に講師として派遣し、青年海外協力隊や国際協力、海外事情等の理解促 進を図る。 ※実行委員会の事務局は当協会。
	令和5年度実績	実施：40校、派遣人数：延べ61名、参加者数：2,150名
	令和6年度計画 (実績を含む)	実施計画：40校
16	事業名	国際理解教材の整備・貸出
	開始年度	平成2年度
	事業概要	国際理解、国際交流、国際協力等に資する地域の国際化を目的とした事業等の 実施者に対して、民族衣装や国旗、地図等の貸出を行うとともに、その整備・ 充実を図る。
	令和5年度実績	民族衣装：19件(学校1, 自治体4件, 各種団体等14件) 国旗：10件(自治体4件, 各種団体等6件)

		地図：貸出なし
	令和6年度計画 (実績を含む)	令和6年度も事業を引き続き実施する。
17	事業名	鹿児島・全北特別自治道文化交流事業
	開始年度	令和2年度
	事業概要	全北国際協力振興院（前全羅北道国際交流センター）との文化交流事業を実施し、本県と全北特別自治道のより一層の文化理解や交流促進を図る。
	令和5年度実績	鹿児島から全北特別自治道に講師を派遣し、講座を実施 実施日：令和5年10月22日 参加人数：33名 内容：鹿児島の紹介、火山灰アート体験
	令和6年度計画 (実績を含む)	全北国際協力振興院が派遣する講師による文化紹介や体験講座を実施
18	事業名	香港学生日本語研修生受入事業（令和6年度より「海外大学日本語研修受入事業」に名称変更
	開始年度	平成20年度
	事業概要	本県と交流のある香港において日本語を学習する大学生等を受入、日本語及び日本文化学習の機会を提供し、本県との交流促進を図る。
	令和5年度実績	受入期間：令和5年7月17～29日 受入人数：香港伍倫貢大学12名の受入
	令和6年度計画 (実績を含む)	本県と交流のある国や地域で日本語を学んでいる大学生等に、鹿児島で日本語及び日本文化を学習する機会を提供し、本県と友好国・地域との交流促進を図るため、可能性などの情報収集を行う。
19	事業名	留学関係情報の提供及び相談
	開始年度	平成2年度
	事業概要	世界主要国の留学制度、海外生活、海外事情、ワーキングホリデー等に関する書籍を整備し、情報を提供するとともに、主に日本人の県民からの相談に応じる。また、ワーキングホリデーに関するセミナーを実施する。
	令和5年度実績	令和5年9月18日 ワーキングホリデーセミナー 参加人数：21名
	令和6年度計画 (実績を含む)	令和6年8月10日 ワーキングホリデーセミナー 定員：30名
20	事業名	国際交流活動の促進
	開始年度	平成2年度
	事業概要	市町村・企業・団体等が在住外国人との交流活動を行う場合、企画立案等の相談に応じるとともに、共催や後援により協力を行う。
	令和5年度実績	後援件数：6件
	令和6年度計画 (実績を含む)	令和5年度に引続き実施する。

21	事業名	地域国際交流促進事業
	開始年度	平成25年度
	事業概要	県内各地で開催されるイベント等に国際交流ブースを出展し、在住外国人の参加を働きかけ、日本人の県民と在住外国人との交流促進を図る。
	令和5年度実績	2件 令和5年8月19日 いちき串木野市国際交流広場へブース出展 令和6年3月17日 協力隊まつりかごしま2024ブース出展
	令和6年度計画 (実績を含む)	事業見直しにより廃止
22	事業名	民間団体の国際交流・協力活動への助成
	開始年度	平成2年度
	事業概要	県内の民間団体が行う国際交流活動、県民の国際理解の推進を目的とする活動、地域レベルの国際交流・協力の推進を目的とする活動等に対し、助成金を交付する。
	令和5年度実績	0件
	令和6年度計画 (実績を含む)	令和6年度より1団体につき上限100千円と変更し、年間6団体助成予定
23	事業名	市町村や市町国際交流協会・国際交流団体とのネットワークの推進（市町村等との意見交換）
	開始年度	平成元年度
	事業概要	共通の課題や問題を抱える市町国際交流協会や県内国際交流団体との意見交換会を開催し、問題解決のための方策の検討を行うとともに、ネットワーク作りを推進する。
	令和5年度実績	市町村及び市町国際交流協会職員を対象とした意見交換会に参加。（県国際交流課主催の多文化共生社会推進会議） 実施日：令和5年8月16日
	令和6年度計画 (実績を含む)	市町村及び市町国際交流協会職員を対象とした意見交換会に参加する。（県くらし共生協働課主催の多文化共生社会推進会議） 実施日：令和6年10月～令和7年1月（予定）
	令和6年度計画 (実績を含む)	市町村及び市町国際交流協会職員を対象とした意見交換会に参加する。（県くらし共生協働課主催の多文化共生社会推進会議） 実施日：令和6年10月～令和7年1月（予定）
24	事業名	市町村や市町国際交流協会・国際交流団体とのネットワークの推進（ダイレクトリーの作成・更新）
	開始年度	平成23年度
	事業概要	国際交流団体等のネットワークの一助とするため「鹿児島県の国際交流・協力団体ダイレクトリー」の作成・更新等を行い、各団体等の状況把握に努めるとともに、ホームページに掲載し、それぞれの活動PRに資する。
	令和5年度実績	県内団体の情報を収集し、協会ホームページに掲載した。
	令和6年度計画 (実績を含む)	令和6年度も引き続き、県内団体の情報を掲載
	令和6年度計画 (実績を含む)	令和6年度も引き続き、県内団体の情報を掲載

25	事業名	国際交流ボランティア登録制度の拡充
	開始年度	平成2年度
	事業概要	広報誌等での周知・広報に努め、各種ボランティア登録者の拡大を図る。(登録は3年ごとに更新)
	令和5年度実績	登録者の状況 語学ボランティア：56名 ホストファミリーボランティア：23家庭
	令和6年度計画 (実績を含む)	登録者の状況(令和6年6月末現在) 語学ボランティア：58名 ホストファミリーボランティア：21家庭
26	事業名	国際交流ボランティア活動の拡充・促進
	開始年度	平成2年度
	事業概要	協会の各種事業において、ボランティアの活動の機会を提供する。語学ボランティアのスキルアップのための研修を実施する。
	令和5年度実績	(1) 令和5年度の活動機会 語学ボランティア：5件(10名) ホストファミリーボランティア：2件(4家庭) (2) スキルアップのための研修 3年登録に合わせて、3年に1度実施するため令和5年度は実施なし。
	令和6年度計画 (実績を含む)	(1) 令和5年度に引続き、語学ボランティアやホストファミリーボランティアへ活動機会を図る。 (2) スキルアップのための研修 3年登録に合わせて、3年に1度実施するため令和6年度は実施なし。
27	事業名	在住外国人のための日本語・日本理解講座
	開始年度	平成16年度
	事業概要	在住外国人を対象に、日本語及び生活情報等の研修を行い、鹿児島での生活の充実とコミュニケーションの円滑化を図る。
	令和5年度実績	(1) 水曜日午前クラス 開催時期：5～2月 研修回数：30回 受講者数：26名 (2) 木曜日夜間クラス 開催時期：5～2月 研修回数：30回 受講者数：42名
	令和6年度計画 (実績を含む)	(1) 水曜日午前クラス 開催時期：5～2月 研修回数：30回 受講定員：20名 (2) 木曜日夜間クラス 開催時期：5月～2月 研修回数：30回 受講定員：20名

28	事業名	多文化共生推進事業(日本語・日本文化等理解講座開催事業)
	開始年度	令和5年度
	事業概要	在住外国人が生活に必要な日本語能力を身につけられるよう、ICTを活用した日本語教育の支援推進に向けた取組をモデルとして行う。
	令和5年度実績	・対面による講座：実施回数5回，参加者延べ人数57名 ・オンラインによる講座：実施回数5回，参加者延べ人数25名
	令和6年度計画 (実績を含む)	・オンラインによる講座：実施回数5回，定員10名程度
29	事業名	多文化共生推進事業(日本語教育人材養成事業)
	開始年度	令和5年度
	事業概要	在住外国人が生活に必要な日本語能力を身につけることを支援する人材を育成し，日本語教師や日本語ボランティア等を確保する。
	令和5年度実績	・日本語ボランティア入門講座(3回，参加者延べ人数57名(オンライン20名)) ・日本語ボランティアスキルアップ講座(6回，参加者延べ人数103名(オンライン13名)) ・日本語教師スキルアップ講座(2回，参加者延べ人数18名)
	令和6年度計画 (実績を含む)	・日本語ボランティア入門講座(3回，定員20名) ・日本語ボランティアスキルアップ講座(6回，定員20名) ・日本語教師スキルアップ講座(2回，定員10名)
30	事業名	多文化共生推進事業(多文化共生社会促進事業)
	開始年度	令和5年度
	事業概要	県内の自治会やその他団体等からの依頼に基づき，地域の在住外国人をサポートする人材を育成するため，多文化共生の取組事例や海外の文化，「やさしい日本語」等多文化共生に係る講師を派遣する。
	令和5年度実績	・「やさしい日本語」講師派遣(3回) ・海外の文化を教える講師派遣(5回) ・多文化共生アドバイザー派遣(4回)
	令和6年度計画 (実績を含む)	・「やさしい日本語」講師派遣(3回程度) ・海外の文化を教える講師派遣(3回程度) ・多文化共生アドバイザー派遣(3回程度)
31	事業名	日本語サロンおしゃべりひろば
	開始年度	平成16年度
	事業概要	日本語の日常会話が可能な在住外国人を対象にフリートーキングを主な内容とする「おしゃべりひろば」を実施し，在住外国人同士のネットワーク構築や日本語会話の上達を図る。
	令和5年度実績	開催月：5月，9月，11月，2月 実施回数：4回

		参加者数：延べ87名
	令和6年度計画 (実績を含む)	実施回数：4回予定
32	事業名	多文化共生の地域社会づくりの推進（「災害時に助け合えるまち」づくり）
	開始年度	令和3年度
	事業概要	県内自治体（離島含む）と連携して、地方在住の外国人が地域の災害対策や防災などについて学ぶとともに、在住外国人をサポートする地域住民が「やさしい日本語」について学ぶ機会を提供する。
	令和5年度実績	外国人向け講座，日本人向け講座，外国人・日本人合同講座を実施 ・令和6年2月4日（屋久島町）参加者：延べ42名 ・令和6年2月18日（日）（大崎町）参加者：延べ25名
	令和6年度計画 (実績を含む)	事業見直しにより県委託事業内で実施
33	事業名	多文化共生の地域社会づくりの推進（災害時の外国人支援のための訓練への参加）
	開始年度	平成22年度
	事業概要	県総合防災訓練への参加を通じて、関係行政機関や団体など外国人を支援する側に対して、避難所での外国人への対応や多言語での情報伝達の手法などの訓練・助言等を行う。
	令和5年度実績	実施日：令和5年5月28日 場所：始良市 内容：県総合防災訓練にて災害時の外国人支援訓練
	令和6年度計画 (実績を含む)	実施日：令和6年5月26日 場所：奄美市 内容：県総合防災訓練にて災害時の外国人支援訓練
34	事業名	多文化共生の地域社会づくりの推進（災害時語学ボランティアの養成）
	開始年度	令和4年度
	事業概要	災害時の外国人支援として、災害時や避難時に必要な基礎知識や通訳・翻訳に関するスキルを持った災害ボランティアを養成する講座等を開催する。
	令和5年度実績	災害時外国人支援ボランティア養成講座 開催日：対 面 令和5年12月9日 オンライン 令和5年12月24日 参加者：計17名（うち当協会語学ボランティア6名）
	令和6年度計画 (実績を含む)	災害時外国人支援ボランティア養成講座 開催日：対 面 令和6年7月7日 オンライン 令和6年7月20日 定員：20名程度
35	事業名	多文化共生の地域社会づくりの推進（防災ハンドブックの多言語化）
	開始年度	令和3年度
	事業概要	在住外国人向けの防災ハンドブックの多言語化を行い、災害時の防災・避難に役立てる。
	令和5年度実績	やさしい日本語版及び英語版増刷，新たに韓国語版，中国語版（各1,000部）を作成した。

	令和6年度計画 (実績を含む)	令和6年度の作成予定なし。ホームページに引き続き掲載。
36	事業名	多文化共生推進事業(地域日本語教育ネットワーク会議の開催)
	開始年度	令和5年度
	事業概要	県内の地域レベルで行われている日本語教室の講師等を対象に、指導技術の向上や日本語教室の運営に役立つ情報を得るための一助となるよう会議を開催し、外国人が住みやすく、訪問しやすい地域づくりに向けた取組の促進を図る。
	令和5年度実績	開催日：令和5年10月24日 参加者数：27名(オンライン参加者含む)
	令和6年度計画 (実績を含む)	令和6年10月(予定)
37	事業名	相談・支援体制の充実(外国人総合相談窓口の運営)
	開始年度	令和元年度
	事業概要	県の委託を受けて、在住外国人の相談に多言語で応じる外国人総合相談窓口の運営を行い、適切な情報の提供に努める。
	令和5年度実績	252件
	令和6年度計画 (実績を含む)	(令和6年4～5月)43件
38	事業名	相談・支援体制の充実(外国人総合相談対応研修の実施)
	開始年度	令和3年度
	事業概要	県の委託を受けて、在住外国人の相談に対応している担当者のスキル向上を図るとともに、日常的に連携している機関団体間のネットワークを形成することにより、相談窓口機能の強化を図る。
	令和5年度実績	開催日：令和5年12月20日 参加者：41名
	令和6年度計画 (実績を含む)	令和6年度も引き続き実施する。
39	事業名	相談・支援体制の充実(国際交流に関する相談対応)
	開始年度	平成2年度
	事業概要	国際交流や多文化共生に関する相談等に応じる相談員を配置し、県民や在住外国人からの相談に応じる。
	令和5年度実績	交流推進員及び交流相談員を中心に、各種の相談や照会に応じた。(留学・ワーキングホリデー・語学・国際交流イベント他) 相談件数：21件
	令和6年度計画 (実績を含む)	令和6年度も引続き各種相談に応じる。
40	事業名	外国人による日本語スピーチコンテスト
	開始年度	平成18年度
	事業概要	国籍や文化の違いを超えた相互理解及び国際交流を深めるため、各種国際交流団体と連携して在住外国人による日本語スピーチコンテストを開催する。
	令和5年度実績	予選：令和6年1月13日 出場者：38名(10か国・地域) 本選：令和6年2月3日 出場者：10名(6か国・地域)

	令和6年度計画 (実績を含む)	予選：令和7年1月予定 本選：令和7年1月予定
41	事業名	留学生の研究活動費の助成
	開始年度	平成3年度
	事業概要	一定の条件を満たす留学生の研究活動を支援するため、助成を行う。
	令和5年度実績	助成件数：0件
	令和6年度計画 (実績を含む)	助成件数：0件（令和6年6月末現在）
42	事業名	留学生の交流活動への助成
	開始年度	平成5年度
	事業概要	東文子さんの御家族からの寄付金を活用し、留学生会等が主催する国際交流・理解事業等に要する経費に対して助成する。
	令和5年度実績	助成件数：0件
	令和6年度計画 (実績を含む)	助成件数：0件（令和6年6月末現在）
43	事業名	留学生支援資金貸付制度の運営
	開始年度	平成10年度
	事業概要	留学生が、生活費、住宅費、医療費、学費等で一時的・臨時的に多額の出費を必要とする場合に、無利息で資金の貸付を行う。
	令和5年度実績	貸付件数：1件 貸付額：100,000円
	令和6年度計画 (実績を含む)	貸付件数：0件（令和6年6月末現在） 貸付額：0円
44	事業名	各大学等留学生担当者意見交換会
	開始年度	平成18年度
	事業概要	留学生に関する情報交換や支援のあり方等について、各大学等留学生担当者との意見交換会を実施し、連携を深める。
	令和5年度実績	令和5年4月25日実施した。 県内大学等9校、関係団体8団体出席
	令和6年度計画 (実績を含む)	令和6年度対面での実施は休止
45	事業名	留学生のための生活ガイドブックの発行
	開始年度	平成18年度
	事業概要	日本語や日本の生活習慣等に不慣れな新入学の留学生が戸惑うことなく安心して鹿児島での生活を送ることができるようガイドブックを作成・更新し、ホームページに掲載する。
	令和5年度実績	協会のホームページに掲載。
	令和6年度計画 (実績を含む)	令和6年度も引き続き実施する。

46	事業名	青少年国際協力体験事業
	開始年度	平成2年度
	事業概要	青年海外協力隊鹿児島県OB会、鹿児島県青年海外協力隊を支援する会及び協会で組織する実行委員会において、県内の青少年に国際協力の現場を体験させるため、市町村や企業等の協力を得ながら、アジアの開発途上国へ県内の中・高校生を派遣する。
	令和5年度実績	派遣国：マレーシア 派遣時期：令和5年7月23～30日 派遣人数：県内の中高校生15名
	令和6年度計画 (実績を含む)	派遣国：カンボジア 派遣時期：令和6年7月21～28日 派遣人数：県内の中高校生16名
47	事業名	在外県人会の育成（郷土情報の提供）
	開始年度	昭和62年度
	事業概要	在外県人会等に対して、グラフかごしま、県政かわら版を定期的に送付し、郷土情報の提供を行う。
	令和5年度実績	送付先：北米、南米、アジア、ヨーロッパの海外県人会 23団体（郵便事情により未送付団体あり） 送付回数：2回
	令和6年度計画 (実績を含む)	令和6年度も引き続き実施する。
48	事業名	在外県人会の育成（県人会活動の支援）
	開始年度	昭和62年度
	事業概要	南米の4県人会の育成のため、移住者の援護指導、消息不明者の調査、移住者の実態調査、県人子弟の育成・指導、母県との交流などの活動を4県人会に委託する。
	令和5年度実績	委託先：ブラジル鹿児島県人会、アルゼンチン鹿児島県人会、ペルー鹿児島県人会、パラグアイ鹿児島県人会 活動内容：消息不明者の調査・回答ほか ブラジル鹿児島県人会110周年記念
	令和6年度計画 (実績を含む)	委託先：ブラジル鹿児島県人会、アルゼンチン鹿児島県人会、ペルー鹿児島県人会、パラグアイ鹿児島県人会 活動内容：消息不明者の調査・回答ほか
49	事業名	旅券発給業務補助を通じた海外交流の環境づくり
	開始年度	昭和62年度
	事業概要	県の委託を受けて、かごしま県民交流センター内に設置されているパスポート窓口及び北薩地域振興局において、旅券の申請受付・作成・交付の業務を行う。また、市町村で申請受付したパスポートの作成の業務を行う。
	令和5年度実績	交付件数：21,580件（市町村申請受付分を含む。）
	令和6年度計画 (実績を含む)	（令和6年11月末現在） 交付件数：16,046件（市町村申請受付分を含む。）

11 鹿児島県国際交流プラザ

(1) 設置目的

地域の国際化が進む中で、本県においても県内各地で様々な国際交流活動が活発に展開されているが、特に民間国際交流団体や在住・来県外国人にとって、活動や交流の場として気軽に利用できる施設の整備が望まれたことから、国際交流機能、情報機能等を有する中核施設として、平成2年7月、鹿児島商工会議所ビルに「国際交流プラザ」を設置した。その後、かごしま県民交流センターのオープンに伴い、平成15年4月、同センター1階に移転した。

(2) 概要

① 施設

設置場所：カクイックス交流センター（かごしま県民交流センター）1階
内 容：事務室、相談室、交流サロン、展示コーナー、資料コーナー

② 機能

ア 交流促進機能

県民と外国人との交流、国際交流団体相互の交流

イ 情報提供・発信機能

各種生活情報、海外情報等の提供（外国新聞・雑誌、情報誌）など

ウ 相談機能

県民の海外との交流に関する相談、留学相談等

エ 研修機能

外国語・文化講座等の実施

③ 休館日等

休 館 日：毎週月曜日（月曜日が祝日の場合、火曜日）

年末年始（12月29日～翌年1月3日）

開館時間：午前9時から午後5時まで

④ 運営

公益財団法人鹿児島県国際交流協会へ委託

⑤ 連絡先

〒892-0816

鹿児島市山下町14-50 カクイックス交流センター（かごしま県民交流センター）1階

TEL：099-221-6620

FAX：099-221-6643

E-mail：kia@kiaweb.or.jp

<https://www.kiaweb.or.jp/>

12 アジア・太平洋農村研修村

(1) アジア・太平洋農村研修村の概要

民間レベルの国際交流・国際協力の実績を生かし、鹿児島県と鹿屋市が大隅湖周辺にアジア・太平洋農村研修村の整備を推進することとなり、県は平成6年4月に研修村の中核施設としてアジア・太平洋農村研修センターを、また、鹿屋市が平成9年5月に同センターの隣接地に民族館を開設した。

(2) アジア・太平洋農村研修センターの概要

① 研修センターの施設

「アジア・太平洋農村研修センター」は「異文化交流」を基本コンセプトに異文化間コミュニケーション、人と人とのコミュニケーションの場としての機能を重視している。

研修センターの施設は管理棟、研修棟、宿泊棟からなり、それぞれが独自のユニークな設計になっている。研修棟は木造の日本建築、ホール棟をはさんでコンクリートづくりの洋建築の管理棟、ガラス張りの長い廊下に連結した東南アジアを思わせる宿泊棟、そして、ホールに洋と和が調和し、未来に夢を馳せる形をとっている。

総事業費：1,272,184千円

敷地面積：10,161.43㎡

建物概要：

区 分	内 容	面 積
管 理 棟	事務室, 会議室, 図書室	679.85㎡
研 修 棟	研修室3室 (25人×2室, 15人×1室) 実習室1室	489.57㎡
宿 泊 棟	宿泊室	1,624.03㎡
	洋室27室 (S10室, T17室) <44人収容可> 和室2室 (15畳, 17.5畳) <2室で28人収容可>	
ホ ー ル 棟		217.81㎡
計		3,011.26㎡

研修センターの休館日等：

区 分	内 容
休 館 日	毎週月曜日, 12月29日から翌年1月3日まで
開 館 時 間	午前9時から午後5時まで

研修センターの使用料：

区 分	内 容
研 修 室	1室1時間までにつき 350円
宿 泊 施 設	洋 室 1人1泊につき 2,500円
	和 室 1人1泊につき 2,500円 (大人)
	1人1泊につき 660円 (大学生以下)

食事代等：

区 分	料 金
食 事 代	朝食500円, 昼食600円, 夕食700円
シ ー ツ 代	1回につき200円 (シーツ取替えを希望する場合も同料金)

- ② 研修センターの管理・運営
鹿兒島国際交流促進センター (県指定管理者) に委託

- ③ 連絡先
〒893-0131
鹿兒島県鹿屋市上高隈町3811-1
TEL : 0994-45-3288
FAX : 0994-45-3258
E-mail : info@kaptic.jp
http://kaptic.jp/

- ④ 令和5年度利用状況
利用者数 : 11,349人 (研修団体数 : 149団体)

⑤ 事業実績

ア 海外技術研修員日本語基礎研修

研修期間 : 令和5年9月7日~10月26日

人 員 : 3名

内 容 : 日本語研修・日本文化研修・ホームステイ・交流会 等

イ 海外学生日本語・日本文化研修

受入大学	参加人数	実施期間
マカオ大学	17名	令和5年6月23日~7月3日
香港大学	12名	令和5年6月5日~6月14日
徳成女子大学校	20名	令和6年1月12日~1月21日
郡山大学校 (韓国)	6名	令和6年2月21日~3月1日

ウ 在住外国人(ALT)日本語・日本文化研修

研修期間 : 令和5年8月20日~25日

人 員 : 42名

内 容 : 日本語研修・日本文化体験

⑥ その他自主事業

ア 国際理解促進事業

国際理解プログラム, アクティブイングリッシュ授業, 地域リーダー育成, グローバルキ
ャンプin大隅, チャレンジ イングリッシュ, クリスマスイングリッシュイベントなど

イ 国際交流事業

鹿児島・佐賀エールプロジェクト, 大隅湖レイクサイドフェスティバル など

ウ 国際協力事業

(7) JICA青年研修

研修期間: 令和5年11月12日~17日

人 員: ベトナムの政府機関等 12名

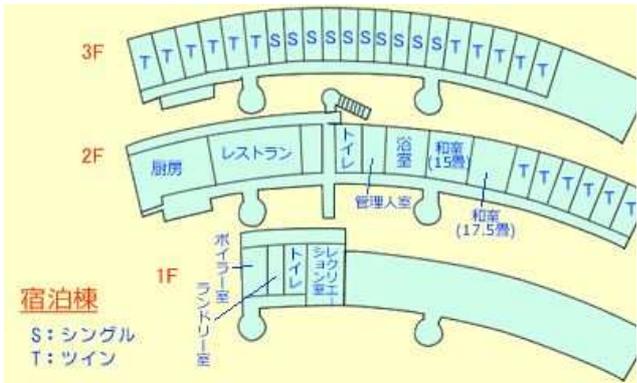
内 容: 講義, 農業関連機関の訪問, 意見交換, ホームステイ等

エ 地域振興・地域づくり事業

鹿児島・佐賀エールプロジェクト, 大隅湖レイクサイドフェスティバル など

⑦ 施設案内

ア 施設配置図



イ 研修施設



研修室



図書室



実習室

ウ 宿泊施設



和室



洋室



レクリエーション室

エ 食事



レストラン

(3) 鹿児島県アジア・太平洋農村研修センターの事業実績

1	事業名 (事業主体)	鹿屋女子高校総合選択制出前授業 (鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター)
	開始年度	令和2年度
	事業概要	鹿屋女子高校総合選択制の科目の1つであるアクティブイングリッシュクラスにおいて年間10回前後、出前授業を行い、その授業において海外の学校等や在日留学生との国際交流を行う(年3回程度)。
	令和5年度実績	(1) 台湾人職員による台湾文化紹介 参加者数：3名 開催日：5月31日 (2) ガーナ人留学生によるガーナ文化紹介(オンライン) 参加者数：4名 開催日：7月5日 (3) 台湾人職員による台湾文化体験 参加者数：4名 開催日：11月15日 (4) 台湾人大学生による台湾文化講義 参加者数：4名 開催日：12月13日
	令和6年度計画 (実績を含む)	屏東県の高校とのオンライン交流を10月に計画中
2	事業名 (事業主体)	鹿屋市タイホストタウン交流支援事業 (鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター)
	開始年度	令和3年度
	事業概要	東京オリンピックにおいてタイのホストタウンであった鹿屋市の学校・団体とオリンピック後もタイとの交流を支援する。
	令和5年度実績	・タイ王国トゥソン市バレーボール少年団受入に伴う鹿児島県アジア・太平洋農村研修村訪問対応 開催日：8月17日 参加者：タイ25名
	令和6年度計画 (実績を含む)	(1) 鹿屋女子高校とプリンスロイヤル校(タイ)とのオンライン交流(一回目) 開催日：6月19日 参加者：22名(鹿児島県側9名, タイ13名) (2) 鹿屋女子高校とプリンスロイヤル校(タイ)とのオンライン交流第(二回目) 開催日(予定)：1月15日

3	事業名 (事業主体)	鹿児島・佐賀エールプロジェクトにおける国際交流支援事業 (鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター)
	開始年度	令和3年度
	事業概要	国体が令和5年に鹿児島県で、令和6年に佐賀県で開催されることをきっかけに、両県の関係深化を図るエールプロジェクトの一環として鹿児島県・佐賀県・海外の3者で国際交流を行う。
	令和5年度実績	・在住外国人とのSDGsキャンプの実施 開催日：8月17日～19日 参加者：佐賀県内高校生（佐賀北高校5名、佐賀西高校5名、致遠館高校5名）、鹿児島県内高校生（鹿屋高校5名、国分高校7名）、在住外国人5名（フィリピン2名、ブラジル2名、フィジー1名）、県内在住インターンシップ生4名
	令和6年度計画 (実績を含む)	(1) 在住外国人とのSDGsキャンプの実施 開催日：7月30日～8月1日 参加者：佐賀県内高校生（佐賀商業高校5名、唐津西高校5名、致遠館高校5名）、鹿児島県内高校生（鹿児島情報高校5名、国分高校9名）、在住外国人5名、県内在住インターンシップ生2名 (2) 佐賀県フィンランド人CIRによるフィンランド講話 開催日(予定)：9月20日 (3) フィンランドフェア（佐賀県）における鹿児島県高校生の派遣 開催日(予定)：11月16日～11月17日
4	事業名 (事業主体)	海外学生日本語・日本文化研修（県事業）における国際交流事業 (鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター)
	開始年度	平成18年度
	事業概要	県事業の海外学生日本語・日本文化研修において県内の学校等に訪問を行い県民との国際交流を推進する。
	令和5年度実績	(1) マカオ大学の県内の学校との訪問交流 ・志學館大学との交流事業の実施 開催日：6月2日 参加者：150名(鹿児島県133名、マカオ17名) ・鹿屋市立大黒小学校との交流事業の実施 開催日：6月8日 参加者：60名(鹿児島県43名、マカオ17名) (2) 香港中文大学の県内の学校との訪問交流 ・鹿児島大学との交流事業の実施 開催日：6月26日 参加者：30名(鹿児島県18名、香港12名) ・鹿屋市立輝北小学校との交流事業の実施 開催日：6月28日 参加者：45名(鹿児島県93名、香港12名) (3) 徳成女子大学と県内の学校との訪問交流 ・鹿屋市立高隈小学校との交流事業の実施

		<p>開催日：1月15日 参加者：35名（鹿児島県15名，韓国20名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・純心女子短期大学との交流実施 <p>開催日：1月16日 参加者：67名（鹿児島県47名，韓国20名）</p> <p>(4) 群山大学と県内の学校との訪問交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今村学園ライセンスアカデミーとの調理実習交流実施 <p>開催日：2月26日 参加者：30名（鹿児島県24名，韓国6名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿屋市立祓川小学校との交流事業の実施 <p>開催日：2月27日 参加者：69名（鹿児島県63名，韓国6名）</p>
	令和6年度計画 (実績を含む)	<p>(1) マカオ大学の県内の学校との訪問交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志學館大学との交流事業の実施 <p>開催日：6月3日 参加者：14名（鹿児島県8名，マカオ6名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿屋市立大黒小学校との交流事業の実施 <p>開催日：6月6日 参加者：19名（鹿児島県13名，マカオ6名）</p> <p>(2) 香港大学の県内の学校との訪問交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一幼児教育短期大学との交流事業の実施 <p>開催日：6月24日 参加者：79名（鹿児島県69名，香港10名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿屋市立高隈小学校との交流事業の実施 <p>開催日：6月28日 参加者：22名（鹿児島県12名，香港10名）</p> <p>(3) 香港中文大学の県内の学校との訪問交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿屋市立看護専門学校との交流事業の実施 <p>開催日：7月2日 参加者：37名（鹿児島県28名，香港9名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿屋市立細山田小学校との交流事業の実施 <p>開催日：7月4日 参加者：38名（鹿児島県29名，香港9名）</p> <p>(4) 徳成女子大学と県内の学校との訪問交流（1月実施予定）</p> <p>(5) 群山大学・屏東大学と県内の学校との訪問交流（2月実施予定）</p>
5	事業名 (事業主体)	鹿児島県海外技術研修員基礎研修における国際交流事業 (県)
	開始年度	平成18年度
	事業概要	県技術研修員の研修において学校訪問等によって県民との国際交流を行うことにより両者の相互理解・友好親善を推進する。
	令和5年度実績	<p>(1) 鹿屋市立高隈小学校運動会参加 開催日：9月17日</p> <p>(2) 鹿屋市立高隈小学校交流会</p>

		<p>開催日：10月5日 参加者：17名（鹿児島県14名、技研員3名）</p> <p>(3) 大隅湖レイクサイドフェスティバル 開催日：10月14日 参加者：456人（来場者453人、技研員3名）</p> <p>(4) 東串良町立池之原小学校交流会 開催日：10月20日 参加者：54名（鹿児島県51名、技研員3名）</p> <p>(5) 鹿屋市立串良小学校交流会 開催日：10月20日 参加者：36名（鹿児島県33名、技研員3名）</p> <p>(6) 曾於市立菅牟田小学校交流会 開催日：10月20日 参加者：21名（鹿児島県18名、技研員3名）</p>
	令和6年度計画 (実績を含む)	<p>(1) 高隅小学校交流会（10月実施予定）</p> <p>(2) 大隅湖レイクサイドフェスティバル（10月実施予定）</p>
6	事業名 (事業主体)	ALTの日本語・日本文化研修における県内インターンシップ生等との国際交流事業（鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター）
	開始年度	平成23年度
	事業概要	ALT研修において、県内の大学生等をインターンシップ、ボランティアに招き、研修生との国際交流を通して国際性を持った人材の育成を行う。
	令和5年度実績	<p>インターンシップ生8名（鹿児島大学1名、鹿児島国際大学3名、鹿児島純心女子短期大学4名）を受入</p> <p>受入期間：8月19日～27日</p>
	令和6年度計画 (実績を含む)	<p>インターンシップ生4名（鹿児島大学1名、鹿児島国際大学1名、鹿児島純心女子短期大学1名、その他1名）を受入</p> <p>受入期間：8月18日～24日</p>
7	事業名 (事業主体)	JICA長期研修員との国際交流事業 (鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター)
	開始年度	令和4年度
	事業概要	九州各県の大学・大学院に留学中のJICA長期研修員との交流を行うことにより、相互理解・友好親善を推進する。
	令和5年度実績	<p>Kirishima Global Activity 2023において霧島市在住の中学生とオンライン交流</p> <p>※台風の為中止</p>
	令和6年度計画 (実績を含む)	<p>Kirishima Global Activity 2024において霧島市在住の中学生とオンライン交流</p> <p>開催日：8月6日</p> <p>参加者：46名（鹿児島県33名、研修員13名）</p>

8	事業名 (事業主体)	オンライン国際交流普及事業 (鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター)
	開始年度	令和2年度
	事業概要	国内外に在住する外国人と県民とのオンライン国際交流を行うことにより両者の相互理解・友好親善を推進する。
	令和5年度実績	(1) 県内学校と海外の学校とのオンライン交流 (一回目) 開催日: 7月5日 参加者: 5名(鹿屋女子高4名 ガーナ人1名) (2) 県内学校と海外の学校とのオンライン交流 (二回目) 開催日: 12月13日 参加者: (5名鹿屋女子高4名 台湾人1名)
	令和6年度計画 (実績を含む)	県内学校と海外の学校とのオンライン交流 (計画中)
9	事業名 (事業主体)	外国文化体験事業 (鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター)
	開始年度	平成18年度
	事業概要	県内在住外国人等と協働し、外国文化を体験する各種イベント(世界の料理講座、サマーフェスタ、ハロウィンイベント、クリスマスイベント、世界のB級グルメイベント、世界のお祭り体験など)を開催することにより、県民との国際交流と異文化理解を促進する。
	令和5年度実績	(1) KAPIC SUMMER ENGLISH FESTA ~タイの水掛け祭り~ 開催日: 7月16日 参加者: 80名 (2) クリスマスイングリッシュイベント 開催予定月: 12月17日 参加者: 78名
令和6年度計画 (実績を含む)	(1) クリスマスイングリッシュイベント 開催予定月: 12月	
10	事業名 (事業主体)	外国語講座の開催 (鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター)
	開始年度	平成28年度
	事業概要	県内の英語キャンプの受入れや県内在住ALTと協働して外国語講座を実施することにより、国際交流と県民の外国語能力の向上を図る。
	令和5年度実績	(1) 第1回 KAPIC CHALLENGE ENGLISH 開催日: 4月16日 参加者: 43名(県内小学生39名, ALT 4名) (2) 第2回 KAPIC CHALLENGE ENGLISH (ハロウィンをテーマにしたアクティビティ) 開催日: 10月1日 参加者: 42名(県内小学生38名, ALT 4名) (3) 第3回 KAPIC CHALLENGE ENGLISH (世界旅行をテーマにしたアクティビティ) 開催日: 2月25日 参加者: 36名(県内小学生32名, ALT 4名)

	令和6年度計画 (実績を含む)	12月に英語イベントを実施予定
11	事業名 (事業主体)	海外の学校等とのお手紙交換による国際交流事業 (鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター)
	開始年度	令和2年度
	事業概要	県内の小学校と海外の小学校をマッチングさせて、互いにお手紙・写真等を交換することにより国際交流を行い両者の相互理解・友好親善を推進する。
	令和5年度実績	(1) エコールアットホーム校(フランス)と鹿児島市立名山小学校との間で実施 開催時期: 12月 参加者: 鹿児島県108名, フランス92名
	令和6年度計画 (実績を含む)	(1) エコールアットホーム校(フランス)と鹿児島市立名山小学校との間で実施 開催時期(予定): 9月~3月 (2) エコールアットホーム校(フランス)と霧島市立日当山小学校との間で実施 開催時期(予定): 9月~3月
12	事業名 (事業主体)	海外の大学等の研修の受入れに伴う国際交流事業 (鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター)
	開始年度	平成18年度
	事業概要	海外の大学等から日本語・日本文化研修並びに各種国際協力研修等を受託し、その研修期間において県内の学校・団体などと国際交流を行うことにより両者の相互理解・友好親善を推進する。
	令和5年度実績	(1) 逢甲大学(夏期)と県内の学校との交流事業 ・南大隅町立第一佐多中学校との間で実施 開催日: 7月12日 参加者: 30名(鹿児島県9名, 台湾21名) ・曾於市立笠木小学校との間で実施 開催日: 7月14日 参加者: 58名(鹿児島県37名, 台湾21名) ・鹿児島国際大学との間で実施 開催日: 7月18日 参加者: 鹿児島県24名, 台湾21名 (2) 逢甲大学(冬期)と県内の学校等との交流事業 ・始良市役所福祉課との交流 開催日: 1月26日 参加者: 49名(鹿児島県30名, 台湾19名) ・鹿児島大学との交流事業 開催日: 1月29日 参加者: 39名(鹿児島県20名, 台湾19名) ・鹿屋市立細山田小学校との交流事業 開催日: 1月30日 参加者: 235名(鹿児島県216名, 台湾19名)

	令和6年度計画 (実績を含む)	<p>(1) 逢甲大学（夏期）と県内の学校との交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南大隅町立第一佐多中学校との間で実施 開催日：7月10日 参加者：27名(鹿児島県4名, 台湾23名) ・鹿児島国際大学との間で実施 開催日：7月16日 参加者：40名(鹿児島県17名, 台湾23名) ・鹿屋市立輝北小学校との間で実施 開催日：7月18日 参加者：114名(鹿児島県91名, 台湾23名) ・垂水市立垂水小学校との間で実施 開催日：7月18日 参加者：66名(鹿児島県43名, 台湾23名) <p>(2) 逢甲大学（冬期）と県内の学校等との交流事業 開催時期（予定）：2月</p>
13	事業名 (事業主体)	台湾文化普及事業 (鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター)
	開始年度	令和5年度
	事業概要	カピックセンターで新規雇用した台湾人の国際交流員によるセンター内外での台湾文化紹介を通じ県民への台湾文化への理解を促進させる。
	令和5年度実績	<p>(1) 台湾文化紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・霧島市立日当山小学校6年生 開催日：5月13日 参加者：112名 ・志布志市立野神小学校1～4年生 開催日：5月18日 参加者：38名 ・志布志市立尾野見小学校3, 4年生 開催日：5月19日 参加者：53名 <p>(2) 台湾フェス 開催日：7月23日 参加者：223名</p> <p>(3) 台湾家庭料理教室 開催日：12月3日 参加者：22名</p>
	令和6年度計画 (実績を含む)	<p>(1) 台湾食文化イベント 開催日：7月21日 参加者：32名</p>

13 鹿児島県国際交流センター

(1) 整備の経緯

平成27年6月、京セラ株式会社創業者で同社名誉会長の稲盛和夫氏が、鹿児島における国際交流のさらなる発展のため、鹿児島県と鹿児島市に各10億円を寄付。この寄付金20億円を原資に、国際社会に貢献する人材の育成や国際相互理解の促進のための拠点施設として整備を進め、令和2年2月末に竣工、同年4月1日に供用を開始した（鹿児島市と共同管理）。

(2) 施設概要

① 建物規模

鉄骨造8階建て

延床面積 約3,300㎡

(交流施設：約1,200㎡, 居住施設：約2,000㎡, 共有部分：約100㎡)

② 施設構成

かごしま国際交流センター		
名 称	鹿児島市国際交流センター 【交流施設】 [1階, 2階]	鹿児島県国際交流センター 【居住施設】 [1及び2階の一部, 3階～8階]
帰 属 先 (指定管理者)	鹿児島市 (公財)鹿児島市国際交流財団	鹿児島県 (鹿児島国際交流促進センター)
内 容	県民・市民と在住外国人がふれあえる施設 ・交流ラウンジ ・多目的ホール ・研修室 ・調理室 ・屋上テラス 等	外国人留学生及び研究者等を受け入れるための施設 ・居室66室 ・娯楽室 ・カウンセリング・ルーム 等

(3) 居住施設の概要

① 各居室概要

居室区分		居室数	面積	入居料	入居期間
3階	夫婦用居室	2	40.5㎡	月額49,000円	原則2年以内
	家族用居室	2	56.3㎡	月額68,000円	
	短期滞在者用居室	2	15.0㎡	日額 2,500円	原則1月以内
4階～8階	単身者用居室	60	12.5㎡	月額34,000円	原則2年以内

※入居料は、いずれも、電気、ガス、上下水道の光熱水費及びネット料金込み。

② 入居対象者

入居対象者		在留資格
留学生	大学、高等専門学校又は専修学校に通学する者	留学
研究者	大学等で研究を行う者	文化活動 短期滞在
配偶者・子	入居者と共に施設を利用する者	家族滞在
留学生、研究者の親族	三親等以内 (短期滞在者用居室での受入)	短期滞在
レジデント・アシスタント (R A)	留学生等の生活相談や日常生活上の支援・助言を行う日本人等学生	
その他知事が適当と認める者		

※レジデント・アシスタント (Resident Assistant) のレジデントは、「居住すること、住み込み」の意味。

③ 居室写真

夫婦用居室



家族用居室



単身者用居室



- ④ 利用状況（令和6年12月時点）
入居者数 58名（外国人51名，日本人7名）

⑤ 事業実績（令和5年度）

ア 利用者の相互交流事業

- (ア) 入居者交流会（4/23，10/26）
- (イ) 大掃除交流会（6/11，1/14）
- (ウ) 花火送別交流会（7/23）
- (エ) バトミントン交流会（2/12）

イ 利用者と県民との交流事業

- (ア) 月例交流カフェ（毎月第2土曜日）

- (イ) 香港, マカオ, 台湾学生との交流プログラム (6/24)
- (ウ) JICA海外協力隊募集説明会イベント (11/12)
- (エ) カピックホームステイ (2/24)

ウ 利用者及び県民の人材育成・国際理解促進事業

- (ア) 利用者に対する研修事業
- (イ) 利用者による語学, 異文化理解講座
- (ウ) その他事業

エ 広報, 情報発信

- (ア) 利用者募集
- (イ) 施設見学の受入れ
- (ウ) マスコミへの協力

(4) 指定管理者情報

鹿児島国際交流促進センター (県指定管理者)

〒892-0846

鹿児島市加治屋町19番18号

TEL : 099-295-6355

FAX : 099-295-6356

E-mail : info@ifc-kagoshima.upper.jp

<https://ifc.crayonsite.net/>



14 多文化共生社会の推進

鹿児島県における在留外国人数は年々増加し、令和5年12月末時点で16,417人と10年前（平成25年6,443人）の約2.5倍となっており、外国人との共生社会の実現に向けた環境整備が求められている。

このことから、鹿児島県及び公益財団法人鹿児島県国際交流協会では、多文化共生社会の推進に向けて以下の取組を行っている。

（1）コミュニケーション（言葉）の壁の解消

- ① 外国人総合相談窓口の運営（くらし共生協働課、公益財団法人鹿児島県国際交流協会）
- ② 多言語コールセンターの運営（PR観光課）
- ③ 県ホームページの多言語化（広報課）
- ④ 日本語・日本文化等理解講座（くらし共生協働課、公益財団法人鹿児島県国際交流協会）
- ⑤ 日本語教育人材（ボランティア、日本語教師）の養成（くらし共生協働課、公益財団法人鹿児島県国際交流協会）
- ⑥ 日本語サロン「おしゃべりひろば」（県国際交流協会）
- ⑦ 災害時に助け合えるまちづくり事業（県国際交流協会）
- ⑧ 災害時の外国人支援ボランティアの養成（くらし共生協働課）
- ⑨ 訪日観光客消費者ホットライン等の周知（消費者行政推進室）

（2）生活の壁の解消

- ① 保証人となる居住支援団体等との連携（住宅政策室）
- ② 119番通報や救急現場における多言語対応（消防保安課）
- ③ 110番通報の多言語対応や各種コミュニケーションツールの活用（県警本部）
- ④ 観光庁災害時情報提供アプリ「Safety tips」の周知（PR観光課、くらし共生協働課、災害対策課）
- ⑤ 日本語指導を行う教職員向け研修（義務教育課）
- ⑥ 多言語相談のための、ICT及びアプリ活用推進（くらし共生協働課）

- ⑦ 災害時外国人支援事業（県国際交流協会）
- ⑧ 災害時に助け合えるまちづくり事業（県国際交流協会）【再掲】
- ⑨ 防災ハンドブックの多言語化事業（県国際交流協会）

（3）意識の壁の解消

- ① 県国際交流員や在留外国人などによる国際理解講座（県国際交流協会）
- ② 市町村等との多文化共生推進会議（くらし共生協働課・外国人材政策推進室・県国際交流協会）
- ③ 団体等が行う交流イベントへの助成（くらし共生協働課）
- ④ 日本語教室代表者ネットワーク会議（くらし共生協働課）
- ⑤ 外国人による日本語スピーチコンテスト（県国際交流協会）
- ⑥ 災害時に助け合えるまちづくり事業（県国際交流協会）【再掲】
- ⑦ 多文化共生アドバイザー等の派遣（くらし共生協働課）